

指定管理者制度導入施設における
モニタリング結果について
(令和2年度実績)

令和3年8月
男鹿市

目 次

1. 指定管理者制度のモニタリング基準

1～3

2. 指定管理者制度導入施設

No.	施設名	指定管理者	担当課	ページ
総務企画部				
1	若美中山間地域活性化施設	申川町内会	若美支所	4～6
2	若美南部地区運動広場	小深見町内会	若美支所	7～9
3	福川地区運動広場	福川町内会	若美支所	10～12
市民福祉部				
4	男鹿市北部デイサービスセンター	社会福祉法人男鹿市社会福祉協議会	福祉課	13～15
5	男鹿市北部在宅介護支援センター	社会福祉法人男鹿市社会福祉協議会	福祉課	16～18
6	男鹿市斎場	公益社団法人男鹿市シルバー人材センター	生活環境課	19～21
7	男鹿市立各保育園(7施設)	社会福祉法人男鹿保育会	健康子育て課	22～24
観光文化スポーツ部				
8	なまはげ館	株式会社おが地域振興公社	観光課	25～27
9	温浴ランドおが	株式会社おが地域振興公社	観光課	28～30
10	夕陽温泉WAO・若美かんぼの里コテージ村	株式会社おが地域振興公社	観光課	31～33
11	インフォメーションセンターわかみ	一般社団法人男鹿市観光協会	観光課	34～36
12	男鹿総合観光案内所	一般社団法人男鹿市観光協会	観光課	37～39
13	男鹿温泉交流会館五風	男鹿温泉郷協同組合	観光課	40～42
14	サンワーク男鹿	公益社団法人男鹿市シルバー人材センター	男鹿まるごと売込課	43～45
15	男鹿市シルバーワークプラザ	公益社団法人男鹿市シルバー人材センター	男鹿まるごと売込課	46～48
16	男鹿市複合観光施設	株式会社おが	男鹿まるごと売込課	49～51
17	市内体育施設	一般財団法人男鹿市体育協会	文化スポーツ課	52～54
産業建設部				
18	福野地区農村公園	福野町内会	農林水産課	55～57
19	申川地区農村公園	申川町内会	農林水産課	58～60
20	八ツ面地区農村公園	八ツ面町内会	農林水産課	61～63
21	福米沢地区農村公園	福米沢町内会	農林水産課	64～66
22	野石地区農村公園	野石町内会	農林水産課	67～69
23	男鹿市農村婦人の家	脇本郷財産管理委員会	農林水産課	70～72
24	男鹿市農林水産物直売所	男鹿市なまはげ直売所運営協議会	農林水産課	73～75
25	平岱山牧野	男鹿市北部草地利用組合	農林水産課	76～78
26	館沼牧野・館沼第2牧野	西水口郷中	農林水産課	79～81

指定管理者制度のモニタリング基準

1 基準の目的

男鹿市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 17 年男鹿市条例第 48 号）第 8 条では、「市長は、公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務及び経理の状況に関し、定期的に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。」とされています。

本基準は、指定管理者制度を導入した施設について、モニタリング実施に関する共通した基準を作成することにより、指定管理者による管理運営の適正を図ることを目的とするものです。

2 モニタリングとは

モニタリングとは、指定管理者による業務が、関係法令に従い、協定書・仕様書及び指定管理者の事業計画書に沿って適正に行われ、業務の履行に関し、適切かつ確実に確保されているかを指定管理者からの報告や実際の現地調査などにより確認し、必要に応じ改善に向けた指導・助言を行い、管理運営の継続が適当でないと認めるときは指定の取消し等を行う一連のチェック体制のことです。

3 モニタリングの方法

市は指定管理者による施設の管理運営が、協定書、仕様書及び指定管理者の事業計画に基づくサービス水準（施設の管理業務や企画事業実施の内容等）を維持し、併せて施設の安定した運営を図るため、次の方法を基に指定管理者と協議し、適切にモニタリングを行うものとします。

(1) 指定管理者によるモニタリング

ア 業務遂行の記録

指定管理者は、日常・定期的に行う清掃、機器点検、安全対策等のほか、施設の利用状況、料金の収納状況等について、また、苦情・トラブルに対しては、その理由及び対応を日報、月報等に記録し、月報等については市に報告するものとします。

イ 利用者満足度調査（アンケート等）

指定管理者は、利用者の意見や要望を把握するために、自己の責任と費用により、定期的（最低年 1 回）な利用者満足度調査として利用者アンケートを実施することとします。

調査項目としては、接客対応、施設・設備、利用条件、利便施設、企画内容等についての満足度を調査することが考えられますが、内容、実施方法、仕様等については、指定管理者が設計するものとします。

その結果については、施設内に掲示するなどし、今後の管理に反映させるとも

に、市に報告するものとします。

ウ 事業報告書の提出（法定事項）

毎年度事業終了後 30 日以内（指定の取消しを受けたときは、その日から起算して 30 日以内）に業務遂行の記録等に基づき整理を行い、事業報告書として市に提出しなければなりません。

【根拠】

地方自治法第 244 条の 2 第 7 項

男鹿市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第 8 条

【事業報告書の内容】

- ・ 管理業務の実施状況
- ・ 利用状況、利用拒否等の件数及び理由
- ・ 利用料金の収入実績
- ・ 管理経費の収支状況
- ・ その他市長が別に定める事項

エ 事業評価（自己評価）

指定管理者は指定管理の自己評価を行い、指定管理者モニタリングシートを作成し市に提出するものとします。

(2) 市（所管課）によるモニタリング

ア 業務の実施状況の確認（連絡調整会議、実地調査）

市は、上半期及び下半期に各 1 回以上指定管理者が管理する施設への立入り等により、業務の実施状況の確認を行うとともに、必要に応じて指定管理者に関係書類の提示を求め、その内容を確認するものとする。

確認すべき項目としては、施設の保全、施設の清掃、機器の点検、安全対策、企画事業の実施、サービスの質の維持向上対策などがある。

また、職員賃金や公共料金等の支払いが適正に行われているかを併せて確認する。

イ 日報、週報、月報の確認（指定管理者と協議）

指定管理者から提出された月報等に基づき、施設の管理、利用状況について確認する。

ウ 事業報告書の確認

指定管理者から提出された事業報告書に基づき、管理業務の実施状況、施設の利用状況、利用拒否等の件数及び理由、利用料金の収入実績、管理経費の収支状況などについて確認する。

オ 事業報告書の処理（所管課評価）

施設所管課は、指定管理者の定期的な報告、指定管理者モニタリングシート（自己評価）及び事業報告書に基づき、当該内容を確認・検証し、必要に応じて指定管理者に対してヒアリングを実施するものとする。

以上に基づき、所管課は指定管理者の事業評価を行い、指定管理者モニタリング

シートを作成するものとする。

カ 指定管理者への改善指示及び指定の取消し

指定管理業務の評価の結果、改善が必要な場合は、関係法令及び当該団体との間で締結した協定書に沿って、所定の手続を行うものとする。

(3) 財務状況の確認

市は、指定管理者である法人あるいは団体の決算の都度、速やかに財務書類等の提出を求め、指定管理者の財務状況を確認することとする。

その結果、継続的にサービスを提供することが困難であるおそれがあると認められる場合は、指定管理者との協議の場を設定し、悪化要因や今後の対策等について説明を受け、指定管理者業務の継続的な運営を主眼として協議を行うものとする。

この場合、指定管理者の財務運営の健全化に向けた対策は自己責任で行うことが基本であることに留意すること。

(4) モニタリング結果の公表

全指定管理施設の検証結果シートは、9月市議会定例会の各常任委員会に報告後、総務課において取りまとめの上、ホームページで公開します。

なお、総務課によるホームページでの公開に合わせて、施設の所管課においては、当該所管施設の事業計画書や事業報告書等の管理運営の状況を掲載しているホームページに当該評価シートを掲出するものとします。

4 モニタリングの運用

モニタリングは、原則としてすべての指定管理者制度導入施設について行うものとする。

既に指定管理者と協定を締結し、管理運営が開始されている施設にあっても、利用者の立場にたった施設運営のために、指定管理者と協議し、より良い運用を図るものとする。

5 モニタリングの評価基準

指定管理施設のモニタリング評価（指定管理者による自己評価、所管課による検証評価）については、下記の基準による評価とする。

【凡例】評価基準	
A 80点以上	【特に優れている】
B 70点以上 80点未満	【優れている】
C 60点以上 70点未満	【適正である】
D 60点以上 50点未満	【改善が必要である】
E 50点未満	【問題があり適切な措置を講じる必要がある】

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	若美支所

1 公の施設

施設名称	若美中山間地域活性化施設	所在地	男鹿市野石字苦竹台18番地2
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	所在地:男鹿市野石字苦竹台18-2 敷地面積:794.87㎡		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	申川町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字申川107	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	使用の許可、使用の制限等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理上、市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	感染症予防の観点から、令和2年度は実施せず 町内会役員会時の利用			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	64 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	32 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因				
来年度の目標設定の考え方				

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大 を図り、地域の活性化を図っている。		町内会役員会等、地域住民が参加する際に使用 されており、適切である、	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大 を図り、地域の活性化を図っている。		町内会役員会等、地域住民が参加する際に使用 されており、適切である、	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づいた業務を行っている。		基本協定に基づいた管理を行っており、問題な し	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理しており、連携が図られている。		町内会で管理しており、連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	感染症予防の観点から、町内会役員会時等の 利用のみ		感染症予防の観点から、事業実施せず	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	町内会行事開催の際は広報等で地域住民に周 知している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	町内会行事の開催場所として利用している。		今後も町内会行事で積極的に使用することを望 む	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	円滑に利用できるよう、体制整備に取り組んで いる		施設内も清掃されており、利用しやすい体制整 備がなされている	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	問題なし		問題なし	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	問題なし		問題なし	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	定期的に清掃、整理整頓実施し、環境維持に努 めている。		施設内も清掃されており、備品も整然としており 問題なし	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	長期間使用しない場合にはブレーカーを操作し たり、ごみの分別等行っている。		問題なし	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員を中心に、施設環境の整備を計画している。	地域住民が協働して施設の管理を行っている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	問題なし	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するよう体制を整備している。	問題なし
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	使用にあたって危険と思われる場所については近づかないよう周知している。	引き続き周知に努めてもらいたい。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は速やかに町内会に連絡するようにしている。	町内会役員から支所へ連絡されるようになってきている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を定期的に行っている。	問題なし。支所で消防点検を行っており、問題点なし
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	目的外利用等なし	問題なし
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料の徴収はしていない	利用料の徴収はしていない
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	収支に関する書類なし	収支に関する書類なし
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	地域住民の交流の場として、環境整備に努め利用している。新型コロナウイルス感染症の影響から利用機会は限定されているが、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	地域住民交流の拠点施設となっており、支所との連携も良好である。消防点検は支所で実施するなど関与しているが、今後は無償譲渡等も検討されており、引き続き効率の良い維持管理に努めてほしい。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	若美支所

1 公の施設

施設名称	若美南部地区運動広場	所在地	男鹿市払戸字川向3番地1
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	所在地:男鹿市払戸字川向3-1 台帳面積:10,643.00㎡ 実測面積:10,588.36㎡ 敷地内に、消防器具置場あり		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	小深見町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市払戸字横長根180	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	使用の許可、使用の制限等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理上、市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	感染症予防の観点から、令和2年度は実施せず			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	感染症予防の観点から、事業実施せず。			
来年度の目標設定の考え方	感染症の流行状況を踏まえながら、実施を検討する。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大 を図り、地域の活性化を図っている。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に使用 されており、適切である。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大 を図り、地域の活性化を図っている。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に使用 されており、適切である。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	基本協定に基づいた業務を行っている。		基本協定に基づいた管理を行っており、問題な し	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理しており、連携が図られている。		町内会で管理しており、連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	感染症予防の観点から、事業実施せず		感染症予防の観点から、事業実施せず	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	町内会行事開催の際は広報等で地域住民に周 知している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	町内会行事の開催場所として利用している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	円滑に利用できるよう、体制整備に取り組んで いる		利用者は主に町内会員であるが、引き続き取 組んでもらいたい。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	施設の利用には影響ないが、バックネットにた るみが見られる。		使用に影響はないが継続して確認する。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	施設の利用には影響ないが、バックネットにた るみが見られる。		使用に影響はないが継続して確認する。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りを定期的実施し、環境維持に努めて いる。		環境整備されており、問題なし	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か	運動広場のため、特別な対策を実施せず		運動広場のため、特別な対策を実施せず	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員を中心に、施設環境の整備を計画している。	地域住民が協働して施設の管理を行っている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	問題なし	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するよう体制を整備している。	問題なし
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	使用にあたって危険と思われる場所については近づかないよう周知している。	引き続き周知に努めてもらいたい。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は速やかに町内会に連絡するようにしている。	町内会役員から支所へ連絡されるようになってきている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を定期的に行っている。	問題なし
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	目的外利用等なし	問題なし
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料の徴収はしていない	利用料の徴収はしていない
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	収支に関する書類なし	収支に関する書類なし
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	地域住民の交流の場として、環境整備に努め利用している。新型コロナウイルス感染症の影響から利用実績はなかったが、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	地域住民交流の拠点施設となっており、支所との連携も良好である。感染症流行により利用機会が減少しているが、引き続き効率の良い維持管理に努めてほしい。 バックネットのたるみなど一部に劣化が見られるので、危険性が増した場合は速やかに支所に連絡すること。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	若美支所

1 公の施設

施設名称	福川地区運動広場	所在地	男鹿市福川字堅石106番地
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	所在地:男鹿市福川字堅石106 台帳面積:10,643.00㎡ 実測面積:8,917.00㎡ 敷地内に、消防器具置場、朋友館あり		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	福川町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市福川字福川25	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	使用の許可、使用の制限等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理上、市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	感染症予防の観点から、令和2年度は実施せず			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	160 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	150 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	感染症流行のため、行事等を中止とした。主な利用者は年2回実施している草刈り参加者である。			
来年度の目標設定の考え方	感染症の流行状況を踏まえ、行事の実施を検討する。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民が共に集い、交流を通してコミュニティ活動 の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図 る。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に使用 されており、適切である。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が共に集い、交流を通してコミュニティ活動 の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図 る。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に使用 されており、適切である。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	基本協定に基づいた業務を行っている。		基本協定に基づいた管理を行っており、問題な し	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理しており、連携が図られている。		町内会で管理しており、連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	感染症予防の観点から、事業実施せず		感染症予防の観点から、事業実施せず	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	町内会行事開催の際は広報等で地域住民に周 知している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	町内会行事の開催場所として利用している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	円滑に利用できるよう、体制整備に取り組んで いる		利用者は主に町内会員であるが、引き続き取 組んでもらいたい。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	問題なし		問題なし	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	問題なし		問題なし	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りを定期的実施し、環境維持に努めて いる。		環境整備されており、問題なし	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か	運動広場のため、特別な対策を実施せず		運動広場のため、特別な対策を実施せず	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員を中心に、施設環境の整備を計画している。	地域住民が協働して施設の管理を行っている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	問題なし	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するよう体制を整備している。	問題なし
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	使用にあたって危険と思われる場所については近づかないよう周知している。	引き続き周知に努めてもらいたい。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は速やかに町内会に連絡するようにしている。	町内会役員から支所へ連絡されるようになってきている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を定期的に行っている。	問題なし
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	目的外利用等なし	問題なし
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料の徴収はしていない	利用料の徴収はしていない
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	収支に関する書類なし	収支に関する書類なし
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	地域住民の交流の場として、環境整備に努め利用している。新型コロナウイルス感染症の影響から利用実績はなかったが、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	地域住民交流の拠点施設となっており、支所との連携も良好である。感染症流行により利用機会が減少しているが、引き続き効率の良い維持管理に努めてほしい。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年8月10日
所管課	福祉課

1 公の施設

施設名称	男鹿市北部デイサービスセンター	所在地	男鹿市北浦北浦平岱山2-24
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	在宅の高齢者に対して、食事、入浴、日常動作訓練等の各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図る。 また、介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(福)男鹿市社会福祉協議会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川片田74	利用料金制	使用料
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 施設の利用等に関する業務 (1)介護保険法に規定する通所介護に関する業務 2. 施設及び設備の維持管理業務 (1)施設及び設備機器の保守管理業務 (2)施設機器の運転操作及び監視業務 (3)備品等管理業務 (4)清掃業務 (5)保安警備業務 (6)維持管理計画作成業務 (7)事故発生時の対応 3. 運営管理業務 (1)組織及び人員配置 (2)事業計画書の作成 (3)事業報告書の作成 (4)事業評価業務 (5)関係機関等の連絡調整 (6)指定管理終了後の引継ぎ			
自主事業の実施状況	地域の観光資源を活用した外出行動を行っているが、コロナ禍で外出の制限があったため、施設内で代替行事を行った。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A)		支出(B)	収支額(A-B)
		(うち指定管理料)			
前年度実績	6,514 人	51,731,606 円	(0)	46,292,804 円	5,438,802 円
当該年度目標	6,582 人	50,906,000 円	(0)	52,221,000 円	△ 1,315,000 円
当該年度実績	6,269 人	50,303,146 円	(0)	49,086,074 円	1,217,072 円
実績等の増減原因	レスパイトケアが目的のショートステイ利用や、コロナ禍における利用者親族の県外への往来により利用休止となるケースが多かったため、前年度実績より減少した。				
来年度の目標設定の考え方	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の関係機関と連携を図りながら、新規利用者の受け入れをスムーズに行う。困難ケースや突発的利用希望者にも柔軟に対応する。				

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	アンケートは実施していない。
利用者アンケートの内容	アンケートは実施していない。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			C		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	職員全員に市の方針、施設の設置目的を周知し、的確に理解したうえで運営している。		職員が市の方針、設置目的等を十分に理解し運営している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	関係法令、運営規定、利用契約に基づき公正な利用を確保している。		運営規定等に基づき適正に運営がなされている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	適正に行っている。		業務報告書等を確認した結果、業務を適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	地元保育園、小中学校との交流、民生委員からの情報提供、ボランティアの受け入れなど地域との連携が図られている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	地域の観光資源を活用し、花見、梨狩り等の外出行事を行っている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	法人ホームページに施設や行事の紹介を掲載している。地域の文化祭、福祉大会等でパンフレットを配布している。		法人のHP及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	ケアマネージャーに施設の空き情報を提供している。困難ケースや突発的な受け入れにも柔軟に対応している。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	投書箱、相談箱を設置し、利用者の声をサービスに活かしている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	維持管理計画を立て、計画的に点検、修理を行っている。日常点検で修繕が必要な場合は、速やかに原因を報告し、適時適切な修繕を行っている。		修繕等適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき、定期的に棚卸を行い、利用状況を把握している。		定期的に更新しており、適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	定期清掃委託を行っているほか、職員が毎日清掃、消毒しており、施設は清潔に保たれている。		現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	こまめに電気を切る、トイレタンクにペットボトルを入れるなど、職員全員で節電、節水に取り組んでいる。コピー用紙は両面を使用している。		現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	社会福祉士、介護福祉士、看護師、調理員など各業務に必要な知識と経験を持った職員を配置している。	適切な人員配置が行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	接遇チェックリストで、毎月個々に振り返りを行っている。	現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	経験年数や業務内容を考慮して施設内外の研修に参加している。参加後は伝達研修も行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	受付担当、対応担当、解決担当を設けて適切に対応している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	ヒヤリハットを報告し、職員全員で情報を共有することで事故防止に努めている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急時の連絡体制を確立し、各自が自分の役割を把握している。防災マニュアルを整備し、職員へ周知している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	定期的に防災、避難訓練を行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報保護、法令遵守のためのマニュアルを作成し、職員に周知している。個人情報が含まれる書類はシュレッターで処分し、パソコンデータは本部サーバーに保管され、適正に管理されている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
C	<ul style="list-style-type: none"> 利用者一人一人の尊厳の保持、人権、権利擁護を基本とし、ケアプランに基づき適切なサービスを提供した。 コロナ禍のため、予定していた行事、ボランティアの受け入れができなかった。 施設、設備などの長寿命化を図るため、日常点検を実施することにより、建物の劣化や不具合箇所の早期発見につなげた。維持管理計画に基づいて業者による点検を実施した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底を図った。
所管課評価	(評価欄)
B	<p>現地調査及び業務報告書等を確認した結果、概ね適正に行われていた。 施設及び備品等は、適切に維持管理を行っているため、安全性と良好な機能等が保持されている。 専門員によるケア体制が確立されており、利用者及び地域住民からも信頼を得ている。</p>

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年8月10日
所管課	福祉課

1 公の施設

施設名称	男鹿市北部在宅介護支援センター	所在地	男鹿市北浦北浦平岱山2-24
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	地域の高齢者やその家族からの在宅介護や生活上の悩みなどの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように関係機関との連絡調整を行う。また、地域のネットワークを活かし高齢者の実態把握を行う。		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(福)男鹿市社会福祉協議会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川片田74	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	高齢者実態把握業務 総合相談業務 施設、設備、備品等の維持管理に関する業務			
自主事業の実施状況	福祉用具の使い方、選び方の指導、説明、福祉用部の展示を行っている。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
		(うち指定管理料)		
前年度実績	20 人	90,000 円 (0)	120,103 円	△ 30,103 円
当該年度目標	24 人	120,000 円 (0)	120,000 円	0 円
当該年度実績	26 人	118,100 円 (0)	118,100 円	0 円
実績等の増減原因	地域住民に「在宅介護支援センター」の存在と役割が周知されておらず、実績の増加に結び付かなかった。			
来年度の目標設定の考え方	民生委員などの地域のネットワークと連携し、高齢者の実態把握を行うことで実績の増加につなげる。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	アンケートは実施していない。
利用者アンケートの内容	アンケートは実施していない。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			C		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	的確に理解したうえで運営している。		職員が市の方針等を十分に理解し運営している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	適正に運営している。		適正に運営がなされている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	適正に行っている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	民生委員やボランティアと連携を図っている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	地域の福祉の拠点として福祉用具の展示、使用方法、選び方の指導を行っている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	法人ホームページに業務内容の紹介を掲載している。		いろいろな媒体を利用し、周知に努めてほしい。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	民生委員やボランティアと連携を図り、利用促進に取り組んでいる。		施設の認知度が低いので、いろいろな媒体を利用し、周知に努めてほしい。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	24時間いつでも相談に応じられる体制を整えている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	日常点検で修繕が必要な場合は、速やかに原因を報告し、適時適切な修繕を行っている。		修繕等適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき、定期的に棚卸を行い、利用状況を把握している。		定期的に更新しており、適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	定期清掃委託を行っているほか、職員が毎日清掃、消毒しており、施設は清潔に保たれている。		現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	こまめに電気を切る、トイレタンクにペットボトルを入れるなど、職員全員で節電、節水に取り組んでいる。コピー用紙は両面を使用している。		現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	社会福祉士、介護福祉士など業務に必要な知識と経験を持った職員を配置している。	適切な人員配置が行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	接遇チェックリストで、毎月個々に振り返りを行っている。	現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	経験年数や業務内容を考慮して施設内外の研修に参加している。参加後は伝達研修も行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	受付担当、対応担当、解決担当を設けて適切に対応している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	事故の事例検討を行い、事故防止に努めている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	併設のデイサービスセンターと連携し、緊急時の連絡体制を確立している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	併設のデイサービスセンターと共同で、定期的に防災・避難訓練を行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	重要性を認識し、個人情報が含まれる書類はシュレッターで処分し、パソコンデータは本部サーバーに保管するなど適正な取り扱いを図っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適切に執行がなされている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄) 相談者に対して真摯に対応し、必要な保健・福祉サービスが受けられるように関係機関との連絡調整を図った。 相談内容が居宅介護支援事務所と重複するケースが多いため、実績が伸びなかった。居宅介護支援事業所との差別化を図るために、要介護になる前の高齢者の実態把握に努めるべきであった。
C	
所管課 評価	(評価欄) 現地調査及び業務報告書等を確認した結果、概ね適正に行われていた。 施設及び備品等は、適切に維持管理を行っているため、安全性と良好な機能等が保持されている。 介護支援専門員等が利用者等のニーズに沿った適切なサービスの提供が実施されている。 もっと地域住民に「在宅介護支援センター」の存在と役割を周知し、利用者の増加につなげてほしい。
C	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月28日
所管課	生活環境課

1 公の施設

施設名称	男鹿市斎場	所在地	男鹿市脇本田谷沢字要沢74番地
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	構造 : 鉄筋コンクリート造平家建 延床面積 : 742.36㎡ (床面積574.3㎡) 施設内容 : 火葬炉2基、汚物炉1基、炉前ホール、収骨室2室、機械室、電気室、残灰室、倉庫、ガスバーナー室、霊安室、待合ホール、待合和室2室、事務室 竣工年月 : 昭和62年12月		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(公社)男鹿市シルバー人材センター	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2	利用料金制	使用料
施設の運営・維持管理の業務内容	(1)火葬及び焼却に関する業務 ①埋火葬許可証受理確認、②炉前業務、③火葬業務、④収骨業務、⑤火葬済証明業務、⑥残骨灰等管理業務 (2)施設及び施設の維持管理に関する業務 ①火葬炉及び付帯機器の運転・保守業務、②建物及び敷地に係る維持管理に関する業務、③除雪業務 (3)清掃に関する業務 (施設、敷地内の美観及び清潔の保持) (4)安全管理業務 (利用者の安全指導、場内パトロール、緊急時の対応等) (5)事務処理業務 (申請書及び文書の保存・管理、施設の維持管理業務の適正な事務処理) (6)報告業務 (火葬等の状況報告) (7)その他の業務 (施設の案内、備品管理等)			
自主事業の実施状況	自主事業は実施していない。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	813 人	21,000,026 円 (21,000,000)	20,998,499 円	1,527 円
当該年度目標	— 人	— 円	— 円	— 円
当該年度実績	817 人	21,002,397 円 (21,000,000)	20,999,189 円	3,208 円
実績等の増減原因	利用者数等の増減要因は、主に死亡者数の増減によるものである。			
来年度の目標設定の考え方	上記の理由により、利用者数等の目標設定はしていないが、今後、高齢化の進展により、利用者は増加するものと思われる。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	ご家族や関係者の方には、概ね満足頂いているが、施設は建築後30年以上経過しており、火葬炉などの老朽化による補修工事が必要となっており、ご不便をにかけている面がある。
利用者アンケートの内容	アンケートは実施していないが、ご家族などからの意見や指摘を受け、業務改善に努めている。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		B
① 平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	所管課と連携を密にし、市の方針や施設の設置目的等に合致した運営を行った。		市の方針や設置目的を理解し、適切な運営を行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者が平等に利用できるような運営を行った。		利用者が平等に利用できるよう適正な運営に努めている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
① 法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、業務を適正に行った。		条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理の業務を適正に執行している。	
② 地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか				
③ 広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか				
④ 施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか				
⑤ サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	亡くなった方の年齢や性別に応じて、適切な火葬業務を心掛けた。		ご遺族等に対し、適切な火葬業務を行っている。	
3 効率的な管理			B		B
① 施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	施設の状況については、所管課に報告し、必要な修繕を行うなど、適切に管理した。		建物や設備の機能保持のため、必要な修繕は市と協議するなどして、適切に管理している。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳等を整備し、利用状況を適切に把握した。		備品台帳等により適切に管理されており、利用状況も適切に把握している。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	清掃員3名を配置した。シフト表を作成し、1名を常駐させ、常に清潔な状況を維持した。		施設の清潔保持のため、清掃員を常駐し、維持管理に努めている。	
② 環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水に取り組むなど、省エネ対策に取り組んだ。		節電、節水など省エネ対策に取り組んでいる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	火葬業務3名、受付案内業務2名、清掃業務3名でシフト表を作成し、施設運営を行った。火葬の際は、各業務ごとに1名ずつを常時配置し、施設の適正な管理運営を行った。	火葬、受付・案内、清掃業務をシフト配置し、施設の適正な管理運営に努めている。
②待遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の待遇、マナーは適切であるか	利用者に対しては常に丁寧な対応を心掛けた。	利用者に対する待遇、マナーは常に丁寧な対応がされている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	指定管理者であるシルバー人材センター職員が常に勤務状況を確認し、斎場職員の資質の向上に努めた。	斎場職員の資質向上のため、定期的に研修等を実施している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	寄せられた意見や苦情については、斎場職員とシルバー人材センター職員が内容を確認しながら業務改善に努めている。	意見や苦情については、斎場職員とシルバー人材センター職員とで内容を協議し、業務改善を図っている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が利用者の状況を常に把握し、注意喚起を行うなど、事故防止を図った。	利用者状況を把握し、注意喚起を行うなど事故防止に努めている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急通報体制や職員の行動マニュアルを作成し、事故や災害時に対応できるよう努めた。	事故、災害時等の緊急行動マニュアルが作成されており、適切に対応できるよう努めている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年2回、防災避難訓練を実施した。	定期的に防災訓練を実施している。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報については、細心の注意を払い管理した。	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支については、予算に基づき適切な執行を行った。	収支計画に基づいて適正な予算執行を行っている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書や帳簿等は、適切に管理した。	文書、帳簿等の管理を適切に実施している。
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
B	令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症対策に留意し施設管理を行った結果、火葬に立ち会った親族や関係者等に感染者・濃厚接触者などは発生していない。大きなトラブルもなく、施設管理は概ね適切に執行されたと判断している。
所管課 評価	(評価欄)
B	斎場は、市民生活および公衆衛生の観点から火葬場を通常通り運営しなければならない。 新型コロナウイルス感染症拡大の状況において、その対策に努め、遺族関係者および斎場職員に感染者や濃厚接触者は発生していない。 利用者に対する待遇マナーの向上や個人情報の適正な取り扱いに努めているほか、建物や設備の安全性と機能が保持されているなど、適切な施設管理が行われている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年5月6日
所管課	健康子育て課

1 公の施設

施設名称	男鹿市立各保育園	所在地	男鹿市船川港船川字片田74
指定期間	平成 30 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	1.男鹿市立船川保育園(認定こども園) (所在地)男鹿市船川港船川字外ヶ沢123番地1 (定員)150人 2.男鹿市立脇本保育園 (所在地)男鹿市脇本脇本字前野7番地 (定員)100人 3.男鹿市立船越保育園 (所在地)男鹿市船越字本町9番地1 (定員)205人 4.男鹿市立北浦保育園 (所在地)男鹿市北浦北浦字鍛冶屋長根52番地2 (定員)60人 5.男鹿市立五里合保育園 (所在地)男鹿市五里合神谷字下石27番地 (定員)60人 6.男鹿市立若美南保育園 (所在地)男鹿市払戸字渡部13番地 (定員)90人 7.男鹿市立玉ノ池保育園 (所在地)男鹿市野石字玉ノ池1番地483 (定員)45人		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(社福)男鹿保育会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市船川港船川字片田74	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1.男鹿市立保育園の運営に関する業務 2.男鹿市立保育園の施設及び維持管理に関する業務 3.病後児保育における保育士等の業務 4.その他市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	市立保育園の運営管理を目的として、市が全額出資して設立した法人であるため、自主事業は実施していない。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	458 人	425,752,672 円 (425,056,291)	425,752,672 円	0 円
当該年度目標	500 人	477,982,000 円 (437,415,358)	477,982,000 円	0 円
当該年度実績	444 人	437,621,740 円 (437,415,358)	437,621,740 円	0 円
実績等の増減原因	保育士不足のため人件費の減(新規採用応募者の減、途中退職者分)			
来年度の目標設定の考え方	保育士不足の解消(目標:新規採用者5名、途中退職者0名)			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	各保育園で保護者アンケートを実施した結果、「満足、どちらかといえば満足」が大半であった。 7保育園集計「満足、どちらかといえば満足」95.2%
利用者アンケートの内容	保育目標、保育環境・行事、衛生・感染症予防、給食、危機管理、職員等について

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		B
① 平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	市との協定内容を踏まえ、事業計画に基づく保育園の管理、運営を行った。		男鹿市立保育園の指定管理を協定に基づき、適正に実施している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	保護者アンケート等からニーズを吸い上げ、家庭との連携を図りながらより良いサービスの提供に努めた。		保護者アンケート等の意見を取り入れ、保育ニーズに対応するよう努力している。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
① 法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定、年度協定等に基づき、保育園運営を適切に行った。		指定管理料の範囲内で施設管理、人件費、園児の保育材料等を適正に執行している。	
② 地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	地域と合同で実施している行事(夏まつり等)がある。民生児童委員、家庭教育支援チームとの連携や保育実習生の受け入れも実施している。		日頃より、地域と交流するよう努めているほか、保育実習生も積極的に受け入れをしている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	自主事業はなし			
③ 広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	園ごとの施設や保育目標などをHP(市)に掲載し、PRに努めている。		求人情報や保育士支援策をHPに掲載し、随時更新している。	
④ 施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	保育サービスの内容をHP(市)に掲載し、ニーズに合わせた提供を行っている。		市と連携し、適切に行っている。	
⑤ サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	園だよりのほかICT(船越)を利用し、保護者への情報提供を行っている。また、アンケート調査を実施し、結果を周知、保護者との意見交換を行い、改善に努めている。		ICTを積極的に取り入れ、保護者への情報提供のほか、スマートフォンから欠席等の連絡が可能なシステムを構築するなど、利便性の向上が図られている。	
3 効率的な管理			B		B
① 施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	保守点検、清掃等を定期的に行っているほか、修繕等は担当課、建設課と連携し行っている。		施設の点検は適正に実施されている。また修繕も市と連携をし、速やかに対応している。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品の点検を定期的実施し、台帳を整理し、適切に使用している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	コロナをはじめとした感染症対策のため、消毒や換気の徹底をしている他、空気清浄機を増設した。		園内清掃、衛生管理に日々努めている。	
② 環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	各施設において節減に取り組んだ。		光熱水費の節減に努めている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	支援を要する園児への保育士の加配等では、不足が生じているが、最低基準は満たしている。	保育士確保のため、養成校への訪問や採用試験の見直しを行うなど、努力している。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	園児、保護者等への丁寧な関わりを行っている。	苦情件数が少なく、適切な対応が伺える。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	役職、職種ごとの研修の機会が確保されている。Zoom研修の機会が増えた。	リモート研修に必要な環境を早急に整備し、研修の機会を確保している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	各園で、アンケートに寄せられた意見には丁寧に回答している。苦情、トラブルがあれば速やかに事務局、園で共有し、職員全体に周知解決している。	保護者会やアンケートでの意見を取り入れ、保護者のニーズに合わせた保育に努力している。また、各園との情報共有が徹底されていることから、苦情にも速やかに対応できている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	ヒヤリハットの事例集を作成し、職員会議で周知して事故防止に努めている。	危険個所の確認等、職員が共通認識のもと、事故防止に努めている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	災害時等は、保護者へのメール配信を行っている。事故対応については、発生防止のための指針を策定し、全職員に周知している他、事故が起きた場合は事務局や市への迅速な報告を行っている。	各保育園において、事故や災害における指針、計画が策定されており、職員全体に周知している。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	危機管理計画に沿って、災害ごとのマニュアルを作成し、定期的に行っている。	火災や自然災害を想定した訓練、不審者対応訓練を定期的に行い、危機管理体制の構築に努めている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	機会あるごとに守秘義務を全職員に徹底している。	組織全体で個人情報保護に努めている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	指定管理料を拠点(保育園)ごとに配分し、事務局において適切に管理している。	男鹿保育会事務局において、適切に管理、執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	事務局において適切及び厳重に管理している。	男鹿保育会事務局において、適切に管理、執行されている。
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄) 保育理念、保育指針の下、職員が保育観について自信をもって対応できるよう、継続的に研修を行うなどして、自己評価、園評価に取組み、保育の質の向上を図ることができた。 また、保護者へのアンケート調査や日々の関わりの中で、保護者の意向の把握及び反映に努め、園児の保育はもちろん、保護者支援も丁寧に行った。 コロナ禍においても、これまで以上に子どもの健康、安全配慮の意識づけ、感染防止のための健康観察や衛生管理の強化が図られ、安全な保育を行うことができた。 施設面では、雨漏りやボイラー等の修繕が必要になる園もあったが、安全を考慮し、男鹿市と連携し、早急に対応することができた。
B	
所管課 評価	(評価欄) 新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの研修が中止・延期となったが、その分園内の研修をより充実させたほか、市保育アドバイザー等による各保育園への細やかな助言により、保育士がより自己研鑽に努められており、その結果、保育の質の向上に繋がることができたものと十分評価できる。 また、保護者アンケートでは「満足・どちらかといえば満足」が大半を占めていることから、日頃より、保護者のニーズに適切に対応されているものと評価できる。
B	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月28日
所管課	観光課

1 公の施設

施設名称	なまはげ館	所在地	男鹿市北浦真山水喰沢
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	【設置目的】 なまはげの保存伝承とふるさと意識の高揚を図るとともに、観光拠点としての役割を担う。 【開館日】 平成11年7月23日 【規模等】 敷地面積 10,829.45㎡ 【施設概要】 RC造平屋建/延床面積1,836.428㎡ 付帯:里暮らし体験塾(母屋・納屋)・駐車場・池・モニュメント等		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(株)おが地域振興公社	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	(1)管理運營業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ (2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理 (3)企画運營業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他 (4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シートを提出			
自主事業の実施状況	・「なまはげ柴灯まつり」開催時、16:00～21:00の間、無料開放。 ・修学旅行団体に対し、より実際の行事に近い状況でナマハゲを体験してもらおうと、男鹿温泉宿泊限定で「夜のナマハゲ体験」を提案し、なまはげ館・男鹿真山伝承館を貸切で対応(評価は高く、次年度以降も予約にも結びついていく)。 ・「里暮らし体験塾」では男鹿の生活文化(食・藁作り等)体験を実施。市内外の学校、女性グループなどに対応。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	129,755 人	123,254,611 円 (0)	117,278,716 円	5,975,895 円
当該年度目標	112,000 人	107,751,000 円 (0)	107,554,000 円	197,000 円
当該年度実績	58,653 人	64,941,944 円 (0)	78,261,059 円	△ 13,319,115 円
実績等の増減原因	利用者数・収入の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるもの(※4月21日～5月6日感染防止の為臨時休館、団体予約キャンセル約31,000名有り)。			
来年度の目標設定の考え方	令和3年度上期の団体予約も、5月GW以降の修学旅行及び募集型団体旅行の予約も例年並みの水準となっており、5月からはコロナ前の平均値の80%～95%の数値に改善する事を想定し目標を設定した。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年「トリップアドバイザー」で、男鹿市観光36件中2位の評価※6年連続(1位は男鹿真山伝承館) ・来館者からの直接の苦情や、自社HPでお客様の意見を頂ける「問い合わせフォーム」からの苦情等は0件。
利用者アンケートの内容	令和2年度に設置していたアンケート用紙はほとんど回収できず。(コロナウイルス感染拡大により、対面によるアンケート調査が難しかった。)令和3年度は期間を定め、コロナウイルスの感染状況を踏まえながら対面式で実施予定。(※回収率を上げるためハルティの配布も検討)

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	「男鹿のナマハゲ」の伝承保存、観光拠点の役割を担いながら誘客及びお客様の紹介を行っている。		ユネスコ無形文化遺産「男鹿のナマハゲ」を適切に紹介し、文化財保護と観光振興の適切な両立を図っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用料金をパンフレット・館内掲示物に告知し適正に運営している。		WEBサイトも含め、適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		A
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき、適正に業務を行っている。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMO、温泉組合、GAO、オガール等と連携し、スタンプラリー、企画商品、営業活動を実施している。		市のDMO推進事業や教育旅行誘致事業等も含め、適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	ナマハゲ及び男鹿の食・文化を紹介する自主企画を実施している(なまはげ館・里暮らし体験塾)。		なまはげ柴灯まつりや大晦日に合わせてナマハゲに関する自主事業を展開するとともに、行事の基盤である地域の伝統文化の継承等も踏まえた里暮らし体験塾での自主事業も実施されている。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	自社HP等を活用し、イベントや自主企画を広く告知しているなか、県内外の旅行会社へ営業及びメールで周知している。		WEBサイトや各種パンフレットのほか、積極的に広告展開も図っている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	コロナ禍の中、特に県内・隣県からの教育旅行誘致のため、市及び観光関係者と誘致活動に取り組んでいる。		市や関係施設と教育旅行誘致を行うだけでなく、自主的な営業展開も図っており、コロナ禍で制約があるものの、成果を挙げている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	コロナ禍の中、キャッシュレス(POSレジ導入)等感染防止に対応しているほか、無料Wi-Fi環境等も整備している。		率先してキャッシュレスサービス等の導入を図るなど、利用者目線での利便性向上に積極的である。	
3 効率的な管理			A		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等を定期的に巡回チェックし、不具合があるときは速やかに対応している。		設置後、20年以上も、経過している設備等もあるが、良好に維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	毎日、清掃業務従事者を配置し実施しており、社員が状況チェック・指示を行っている。		館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	従業員スペースの細めな消灯を全従業員へ徹底しており、冷暖房の細めな入切も行っている。		例年、光熱水費はほぼ一定であり、省エネの取組が必要である。(ただし、当該年度はコロナ禍の影響で例年より減少している)。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	月次シフト作成時、業務内容・予約に合わせ人員配置を計画している。時間帯業務もポードで周知徹底している。	年中無休の施設として、適正な配置がなされている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	気づいた点は毎日の朝礼で指示し、苦情があった際は全員に報告し再発防止を徹底している。	来館者に対し、適切な接遇が行われている。当該年度における当施設に対するクレームはなかった。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	当館が加盟している市観光協会・県観光連盟等の主催の接遇研修開催時は極力参加するようにしている。	市や市観光協会が主催する各種研修には積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ご意見・苦情等は即統括支配人、支配人へ引継ぎ、報告の上、対応している(改善可能なものは即対応)。	統括支配人を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	正社員は、毎日館内外を開館前・開館中に巡回しチェックしている。	施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	マニュアルを作成し、緊急時に対応している。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	最低年1回は実施している。	適切に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報記載の書類は鍵付き書庫等で保管しており、不要になったものは、シュレッターで廃棄処分している。	適切に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は、費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書・帳簿類はバインダーに整理し決められた場所に保管しているほか、通帳は施設できる場所に保管している。	適切に管理されている。
5 その他【新型コロナウイルス対応】		A	A
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝、検温を実施し、記録している。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗いうがいを頻繁に実施するようにしている。	自社の判断で早々に対応しており、他施設の手本となっている。
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時の検温・アルコール消毒を必須としているほか、フロント・売店カウンターへアクリル板を設置している。映画鑑賞時、椅子を削減し間隔をとるよう配慮している。	自社の判断で体温検知カメラを早々に導入するなど、独自に取り組んでおり、他施設の手本となっている。
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	館内へ空気清浄機を6台設置し、窓の開放・換気の徹底を図っている。	自社で空気清浄器を導入するなど、積極的な予防体制を構築している。

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 入館者数・収支の部分では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、従来県外・海外からのお客様をターゲットにしている当館においては、平成11年のオープン来最低の数値となった。首都圏や感染拡大地など団体予約のキャンセルが約31,000名程有ったのが大きな要因である。今後はいかに地元(県内)のお客様から当館に足を運んでもらうかが課題である。当2年度、唯一プラスになったのが教育旅行(修学旅行)であるが、県内も含め131校、5,494名の実績(前年差106校/3,367名増)で受入時の評価が良く3年度の予約につながっている。コロナウイルス感染予防対応には年度当初から迅速に対応しお客様の受入を行った。 3年度においては、現時点で首都圏・関西・九州・北海道等からの、一般募集团体の予約が例年並みに入っているが、コロナ禍後、約1年半以上営業活動していないため、コロナの感染状況を踏まえながら首都圏等大都市部への営業活動を展開していくことが必要である。また、3年度においては、2年度にコロナの影響等もあり、対面式で実施できなかったアンケート調査を対面式で行い施設の評価を収集するなど、今後の運営につなげていく。
B	
所管課評価	(評価欄) これまでの自社の営業活動により、一定の入館者と売上を確保しており、これを原資として、積極的な広告展開や、サービス向上の取組を図っている。また、ユネスコ無形文化遺産である「男鹿のナマハゲ」の保存伝承と観光振興を両立振興しており、隣接する男鹿真山伝承館や真山神社との協働体制を構築し、相乗効果を上げている。 指定管理料に頼らず、当施設を適切に運営しており、当市の指定管理者制度における成功例と考えている。
A	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月28日
所管課	観光課

1 公の施設

施設名称	温浴ランドおが	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>【設置目的】 住民の健康及び福祉の増進並びに交流の促進を図るとともに、一般観光客の利用に供する。</p> <p>【開館日】 平成8年8月2日</p> <p>【規模等】 敷地面積 9,993㎡</p> <p>【施設概要】 RC一部鉄骨2階建/延床面積1,255.791㎡ 付帯:電気室・源泉水及び排水処理室・貯湯タンク及び浄化槽制御室・駐車場・案内看板等</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(株)おが地域振興公社	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シートを提出</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大広間での歌謡ショー ・入館者の無料送迎 			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	63,487 人	56,374,326 円 (21,438,000)	59,957,371 円	△ 3,583,045 円
当該年度目標	57,300 人	58,310,000 円 (21,438,000)	58,310,000 円	0 円
当該年度実績	43,836 人	46,015,588 円 (21,438,000)	46,616,316 円	△ 600,728 円
実績等の増減原因	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減は、新型コロナウイルス感染防止対策のための休業、繁忙期の帰省客の減少、イベント・宴会・カラオケ等の中止などによるもの。 ・収入の減は、利用者の減による利用収入・売店、レストランなどの売上の減によるもので、支出の減は、光熱水費・人件費の削減によるもの。 			
来年度の目標設定の考え方	新型コロナウイルス感染症が終息の方向に向かうと想定し、コロナ前の90%の数値で目標を設定した。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	アンケート集計の結果、約8割が満足との回答をいただいている。また、フロントでの対応で、温泉の泉質が良いという声が多く、満足度は高いと考えられる。
利用者アンケートの内容	①住所 ②性別 ③年齢 ④月の利用回数 ⑤温泉浴の満足度 ⑥脱衣場、ロビー等の設備良悪 ⑦従業員の接客 ⑧レストランの食事内容の良悪 ⑨レストランの待ち時間の早遅 ⑩お客様の満足度

5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光課と連携し運営している。	住民福祉、観光利用の視点からも適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者を差別偏見なく、平等に受け入れており、入浴拒否はゼロである。	適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき、適正に業務を行っている。	適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMO推進室や各観光施設と連携を図っている。	市や男鹿市観光協会等との、適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	地場の山菜等をレストラン食材で使用したり、雲昌寺のアジサイ観覧時はアジサイランチを提供するなど、地域の特性を活かしている。	地場産食材を用いたメニュー提供や、近隣の雲昌寺のあじさい拝観に合わせたランチ提供などの地域特性を活かしているものの、さらなる自主事業の拡充が必要である。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	道の駅や観光施設等にパンフレット配布、ポスター掲示しているほか、総合パンフレットに広告を掲載している。	WEBサイトや各種自社パンフレットを作成しているものの、より効果的なPRが必要である。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	レストランメニューや団体食のメニューを更新している。	利用促進に向けて、より積極的で効果的な周知や自主事業等の取組が必要である。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	ポイントカードの発行や、レストラン利用時において、特定金額以上の利用の際、割引を行っている。また、無料Wi-Fiの環境整備等も実施している。	利用者へのサービス向上の取組は進められている。	
3 効率的な管理		B		C
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等の定期点検及び巡回チェックを実施し、不具合があるときは速やかに対応している。また、敷地内の定期的な草刈りを行っている。	建物や設備の老朽化が著しいものの、日々の適切な管理により、機能が維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。	適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	定時での掃除の他、臨時清掃も行っている。	館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化されている。ただし、当該年度においては、レジオネラ菌が検出されたことにより休館を余儀なくされたため、清掃のさらなる徹底に努める必要がある。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	季節により、濾過器等の時間を調整し省エネに取り組んでいる。	光熱水費は年々削減されてきており、省エネ対策が進められている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	シフト制により、営業中に人員不足にならないよう配置している。	施設を維持する上での最低限の配置はなされているものの、自主事業の企画立案やプロモーションを行う人員配置が必要である。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	朝礼時に挨拶等の言葉遣いを注意するよう指導している。	利用者に対し、適切な接遇が行われている。当該年度において、当施設に対するクレームはなかった。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	接遇講習会などには積極的に出席させている。	市や市観光協会が主催する各種研修には積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ご意見・苦情等は即支配人へ引継ぎ・報告の上、対応している。	支配人を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	危険箇所や、機械の不具合がある際は従業員間で情報を共有し、立入禁止などの処置をしている。	施設の状況確認も含め、適切に行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに自社で修繕を行っている他、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	マニュアルを整備している。	これまで事故等はないものの、準備体制が適切に整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年2回防災訓練を行っている。	適切に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報が書かれた書類は、破棄する際に、シュレッダーで処理している。	適切に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	書類別にファイリングしているほか、通帳は金庫で保管し適切に行っている。	適切に管理されている。
5 その他【新型コロナウイルス対応及びバリアフリー対応】		B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温を実施し、記録している。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に対応している。
②コロナ対応	・来館者への感染予防	入館時、検温・アルコール消毒を促し、カウンターへアクリル板を設置している。	適切に対応している。
③バリアフリー	・高齢者等への対応	足の悪い方のため、小部屋にテーブル席を設置している。	利用者の年齢構成に合わせて、可能な限り対応している。

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 老朽化した建物や設備である点を考慮し、お客様の安全管理、細めな設備維持、清掃等へ特に気を遣っており、クレームなどについては、朝礼等で全従業員に周知し、改善に努めるなど従業員一同でサービスの充実に努めている。また、日、月ごとの目標値を共有し、特に新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、体温計測、消毒、アクリル板の設置はもとより、少人数利用に対応した送迎体制なども整備しており、withコロナを意識した経営が行われている。 以上の点から、当該施設の設置趣旨に従い、適正な管理運営を行っている認められる。
B	
所管課評価	(評価欄) 施設開設から25年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進む中、日々の丁寧な管理により、施設を運営していることへの信頼度は高い。当該年度はコロナ禍により、利用者が前年比で3割以上落ち込んだものの、コスト削減により赤字が縮減されたことは、日々の営業努力によるものと考え。一方、住民福祉の視点から、より積極的な自主事業の展開による利用者サービスの向上を図り、市民の利活用を促すほか、当該年度は、レジオネラ菌の検出により休館し、メディアにも取り上げられたことから、清掃や設備管理の徹底をしていくことが必要である。 より良い施設運営へ向けて、改善事項はあるものの、指定管理者として、当施設を適切に運営していると認められる。
B	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月28日
所管課	観光課

1 公の施設

施設名称	夕陽温泉WAO・若美かんぼの里コテージ村	所在地	男鹿市野石大場沢下1-17
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>夕陽温泉WAO 【設置目的】 地域住民が温泉を利用して健康及び福祉の増進を図るため。 【開館日】 平成5年7月21日 【規模等】 敷地面積 10,896.37㎡ 【施設概要】 RC造平屋建/延床面積946.695㎡ 付帯:受水設備建屋・浄水設備建屋・貯湯槽建屋・揚湯総湯棟・駐車場・案内看板等</p> <p>若美かんぼの里コテージ村 【設置目的】 豊かな自然環境を活用し、魅力あふれるふるさとづくりと地域の活性化を図るため。 【開館日】 平成6年11月25日 【規模等】 敷地面積 7,728.45㎡ 【施設概要】 木造平屋建4人用コテージ 6棟/木造平屋建6人用コテージ5棟 付帯:職員休憩棟・案内看板等</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(株)おが地域振興公社	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ (2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理 (3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他 (4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シートを提出			
自主事業の実施状況	・大広間での歌謡ショー ・入館者の無料送迎			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	66,321 人	72,299,321 円 (30,016,000)	71,139,741 円	1,159,580 円
当該年度目標	58,195 人	71,630,000 円 (30,016,000)	71,630,000 円	0 円
当該年度実績	49,686 人	62,440,616 円 (30,016,000)	58,302,548 円	4,138,068 円
実績等の増減原因	・利用者の減は、新型コロナウイルス感染防止対策の休業、繁忙期の帰省客の減少、イベント・宴会・カラオケ等の中止などによるもの。 ・収入の減は、利用者の減による利用収入・売店、レストランなどの売上の減によるもので、支出の減は、光熱水費・人件費の削減によるもの。			
来年度の目標設定の考え方	新型コロナウイルス感染症が終息の方向に向かうと想定し、コロナ前の90%の数値で目標を設定した。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	アンケート集計の結果、約8割が満足との回答をいただいている。また、フロントでの対応で、温泉の泉質が良いという声が多く、満足度は高いと考えられる。
利用者アンケートの内容	①住所 ②性別 ③年齢 ④月の利用回数 ⑤温泉浴の満足度 ⑥脱衣場、ロビー等の設備の良悪 ⑦従業員の接客 ⑧レストランの食事内容の良悪 ⑨レストランの待ち時間の早遅 ⑩お客様の満足度

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光課と連携し運営している。		住民福祉、観光利用の視点からも適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者を差別偏見なく、平等に受け入れており、入浴拒否はゼロである。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき、適正に業務を行っている。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMO推進室や各観光施設と連携を図っている。		市や男鹿市観光協会等との、適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	地場のお米等をレストラン食材で使用している。		地場産食材を用いたメニュー提供など、地域特性を活かしているものの、更なる自主事業の拡充が必要である。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	道の駅や観光施設等にパンフレット配布や、ポスター掲示を行っているほか、総合パンフレットに広告を掲載している。		WEBサイトや自社パンフレットを作成しているものの、更新頻度が著しく低いため、より積極的な情報発信が必要である。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	レストランメニューや団体食のメニューを更新している。		市民を対象として、定期の無料バス送迎巡回などを積極的に行っており、利用促進に取り組んでいる。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	ポイントカードの発行やレストラン利用時に、特定金額以上の利用の際、割引を行っている。また、無料Wi-Fiの環境整備等も実施している。		温泉施設では利用者へのサービス向上の取組は進められているが、コテージ村での実施も必要である。	
3 効率的な管理			B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等の定期点検や、巡回チェックにより、不具合があるときは速やかに対応している。また、敷地内の定期的な草刈りを行っている。		建物や設備の老朽化が著しいものの、日々の適切な管理により、機能が維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	定時での掃除の他、臨時清掃も行っている。		館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	エアコン・ボイラー等の稼働・温度設定は、季節に応じ調整し、省エネに取り組んでいる。		光熱水費は年々削減されてきており、省エネ対策が進められている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	シフト制により、営業中に人員不足にならないよう配置している。	施設を維持する上での最低限の配置はなされているものの、自主事業の企画立案やプロモーションを行う人員配置が必要である。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	朝礼時に挨拶等の言葉遣いを注意するよう指導している。	利用者に対し、適切な接遇が行われている。当該年度において、当施設に対するクレームはなかった。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	接遇講習会などには積極的に出席させている。	市や市観光協会が主催する各種研修には積極的に参加している。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ご意見・苦情等は即支配人へ引継ぎ・報告の上、対応している。	支配人を中心に連絡体制が確立されている。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	危険箇所や、機械の不具合がある際は従業員間で情報を共有し、立入禁止などの処置をしている。	施設の状況確認も含め、適切に行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに自社で修繕を行う他、当課への連絡も適切に行われている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	マニュアルを整備している。	これまで事故等はないものの、準備体制は整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	消防法に基づく年2回の避難訓練等を行っている。	適切に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報を書かれた書類は、破棄する際に、シュレッダーで処理している。	適切に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は、費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	書類別にファイリングしているほか、通帳は金庫で保管しているなど適切に行っている。	適切に管理されている。	
5 その他【新型コロナウイルス対応】			B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温を実施し、記録している。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に対応している。	
②コロナ対応	・来館者への感染予防	入館時、検温・アルコール消毒を促しているほか、カウンターへアクリル板を設置している	適切に対応している。	
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄) 老朽化した建物や設備である点を考慮し、お客様の安全管理、細めな設備維持、清掃などに特に気を遣っており、クレームなどについては、朝礼等で全従業員に周知し、改善に努めるなど従業員一同でサービスの充実に努めている。また、日、月ごとの目標値を共有し、特に新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、体温計測、消毒、アクリル板の設置はもとより、少人数利用に対応した送迎体制なども整備しており、withコロナを意識した経営が行われている。 以上の点から、当該施設の設置趣旨に従い、適正な管理運営を行っている認められている。
B	
所管課 評価	(評価欄) 施設開設から28年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進む中、日々の丁寧な管理により、施設を運営していることへの信頼度は高い。当該年度はコロナ禍により、利用者が前年比で2割以上落ち込んだものの、コスト削減により利益を確保できていることは、日々の営業努力によるものと考えられる。また、住民福祉の観点から、無料の送迎巡回バスの運行等により、市民の利活用を積極的に促していることは評価できるものの、更なる自主事業の展開による利用者サービスの向上など、より積極的な運営が必要である。 より良い施設運営へ向けて、改善事項はあるものの、指定管理者として、当施設を適切に運営していると認められる。
B	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月26日
所管課	観光課

1 公の施設

施設名称	インフォメーションセンターわかみ	所在地	男鹿市払戸字大堤127
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>【設置目的】 観光宣伝及び地場産業の普及宣伝等を行い、産業経済の振興に寄与するとともに、市民の生活文化の向上と地域の活性化を図るため。</p> <p>【開館日】 平成3年9月</p> <p>【規模等】 敷地面積 2,377.99㎡</p> <p>【施設概要】 鉄骨造平屋建/延床面積316.25㎡ 付帯:駐車場・モニュメント等</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(一社)男鹿市観光協会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川泉台66-1 内 男鹿市役所	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シートを提出</p>			
自主事業の実施状況	<p>・みどりの会とレストラン白山、当会が連携した収穫感謝祭(年間2回開催)の開催</p>			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	34,417 人	5,320,280 円 (3,290,000)	5,117,631 円	202,649 円
当該年度目標	34,000 人	5,300,000 円 (3,290,000)	5,200,000 円	100,000 円
当該年度実績	33,708 人	5,220,275 円 (3,290,000)	4,867,798 円	352,477 円
実績等の増減原因	<p>新型コロナウイルスによる来館者数の減による。 (※4月25日~5月6日感染防止の為臨時休業)</p>			
来年度の目標設定の考え方	<p>当施設の収入割合は、みどりの会及びレストラン白山によるテナントによる割合が高いため、2つのテナントの安定的な運営が重要である。新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、当施設は比較的近隣住民等の利用が多いことから、例年と同規模で設定している。</p>			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	施設内でアンケートを実施し、お客様の声に耳を傾けた運営を心がけている。また当該年度に要望や苦情は寄せられていないほか、リピーター客が多くを占めるため、満足度は高水準を維持出来ているものと考えている。満足度アップへの課題としては、販売している農産物の安定化(数量・品揃え)が重要であると考えられるので、年間を通じた品揃えによりお客様の要望に応じていく。
利用者アンケートの内容	観光インフォメーションの案内対応やレストランコーナー、農産物販売での対面販売などの接客対応、トイレの衛生面の改善など。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		A
① 平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光情報の発信、観光案内の充実を図り、情報の一元化による公平な案内に努め、公共施設運営者としての自覚をもった運営を行っている。		県北方面からの入り口にある観光案内施設として、観光情報発信を適切に行うと同時に、地場産農産物の直売を通して、産業経済の振興に寄与している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	イベント時の営業時間延長など、お客様目線での営業形態により運営している。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		C
① 法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例・規則などを遵守しお客様の安全と施設の管理に努めている。		適正に行われている。	
② 地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	花プランターを設置しボランティアなどと協働で管理している。		市や他の観光施設との適切な協力関係が保たれており、また、ボランティアとの連携も図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	利用者への還元イベントとして、年間2回、収穫感謝祭を開催している。		テナントの農産物直売を核としたイベントを実施している。	
③ 広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	収穫感謝祭開催を新聞折り込みで告知し集客に努めている。また、市観光情報ポータルサイトへの掲載や、総合観光パンフレット等でも周知している。		市観光ポータルサイトや総合観光パンフレット等で周知しているものの、より積極的なPRが必要である。	
④ 施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	各種チケット販売などを行い、県北方面からの入り口にある案内施設として、立寄が促されるよう取り組んでいる。		年々利用者数が減少しているため、利用促進を促す効果的な取組が必要である。	
⑤ サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	子どもへはナマハゲ折り紙をプレゼントするなど、各種ノベルティの配布を行っている。		各種ノベルティの配布のほか、Wi-Fiサービスの提供など、サービス向上に取り組んでいる。	
3 効率的な管理			B		B
① 施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	法令を遵守し、見回りや定期点検、メンテナンスを実施して、施設機能を維持している。		設置後、30年以上、経過している施設であるが、良好に維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	施設内の清掃を徹底しており、特にトイレの衛生面については、注意を払っている。		施設内は老朽化が目立つものの、テナント部も含め、清潔に保たれている。特にトイレは清潔に保たれている。	
② 環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	トイレ内で節水の注意喚起を行っているほか、館内温度を定時測定により管理し、適切な温度によるエコな運営を心掛けている。		例年、光熱水費はほぼ一定であり、省エネの取組が望まれる(ただし、当該年度はコロナ禍の影響により例年より減少している)。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	繁忙期は、職員を増員し閑散期は、少数な配置によりメリハリの効いた効率的な運営に努めている。	年中無休の施設として、適正な配置がなされている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	「いらっしゃいませ」などの声かけの徹底を確実に実施している。「笑顔のおが」を実践し接客に努めている。	利用者に対し、適切な接遇が行われている。接遇に関して、当該年度における当施設に対するクレームはなかった。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	JNTOや東北の観光案内所ネットワーク事業による研修会などへ参加するようにしている。	市等が行う研修会等にも積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	寄せられた意見のうち、お客様への返答を要するものについては、速やかに返答し、観光課も含め、職員間での共有を図ることとしている。	事務局長及び施設長を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が毎日館内外を開館前・開館中に巡回の上、チェックしている。	施設の状況確認も含め、適切に行われており、施設に不備が生じた際には、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	予期せぬ事故に対応するため施設内賠償責任保険に加入している。また、日々安全な利用促進に配慮している。緊急事故連絡体制を構築し、事故の際には、各所へ速やかに連絡できるようにしている。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	万が一の際にも的確な対応が取れるよう、消防訓練など、法令に沿った訓練を定期的に行っている。	適切に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	当会の個人情報の取扱規定を遵守し、対応している。	適切に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支計画による安定的な運営のため、請求・支出日を定め資金の管理に努めている。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	協会の規定により、帳簿、通帳の管理を行っている。通帳は施設には保管せず、協会事務局の金庫に保管している。	適切に管理されている。

5 その他【新型コロナウイルス対応】		B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝、検温を実施し、記録している。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に対応している。
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時、検温・アルコール消毒を必須としているほか、カウンターにビニールシートをかけている。	適切に対応している。
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気を徹底している。	適切に対応している。

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 県北部から男鹿半島への入口に所在する施設として、観光案内機能を充実させ、利用者へのサービス向上に資する取組を実施している。また、例年行っている自主イベント「収穫感謝祭」では、令和2年度において、コロナ禍にも関わらず500人(2回合計のレジ通過者)の参加者があった。これは、レストラン利用者も含め、地域の農産物等の通年販売により、地元利用客が多いことも一因として捉えており、今後も様々な目的のお客様に利用いただけるよう、施設営業に趣向をこらしていく。 また、施設の老朽化が進む中、細目な修繕や点検等により、利用客からのクレームがこれまでほとんど寄せられておらず、適正な管理運営を行っている判断している。引き続き、観光案内所機能を重視しながら、テナント事業者とも協力して管理運営を行っていく。	B
所管課評価	(評価欄) コロナ禍において、男鹿半島全体の観光客数が減少している中、利用者数の減少が2%にとどまっていることは、周辺域からの利用者が多いことに起因すると想定され、地域密着の施設運営がなされていると判断している。 しかし、平成29年度との比較では5,000人程度の利用者の減少が見られることから、情報発信や周知を強化し、利用促進に係る取組を積極的に進めることで、認知度を高め、観光客の立ち寄りにつなげるなど、効果的な取組を進めていくことが必要である。 今後の施設運営に向けて、改善が必要な事項はあるものの、指定管理者として、当施設を適切に運営していると認められる。	B

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月26日
所管課	観光課

1 公の施設

施設名称	男鹿総合観光案内所	所在地	男鹿市船越一向207-219
指定期間	令和 29 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>【設置目的】 観光関連情報を提供し、観光の振興及び地域の活性化を図るため。</p> <p>【開館日】 平成19年6月1日</p> <p>【規模等】 敷地面積 62,577.32㎡(内、メガソーラー敷地 32,788.70㎡を除く)</p> <p>【施設概要】 鉄骨造平屋建/延床面積 441.25㎡ 付帯: 付属棟、駐車場、なまはげ立像、野外ステージ、露天スペース、憩いの広場(芝生)、花の広場</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(一社)男鹿市観光協会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川泉台66-1 内 男鹿市役所	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シートを提出</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケットの開催(5月頃～10月頃) ・ステージイベントの開催 ・なまはげ太鼓の実演によるイベント・鯛まつりなど告知イベントの開催 			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	88,807 人	10,407,412 円 (4,940,000)	10,203,476 円	203,936 円
当該年度目標	80,000 人	10,127,000 円 (4,940,000)	10,067,000 円	60,000 円
当該年度実績	65,482 人	8,693,057 円 (4,940,000)	8,592,444 円	100,613 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルスによる利用者数の減による。 (※4月25日～5月6日感染防止の為臨時休業)			
来年度の目標設定の考え方	新型コロナウイルスの影響を考慮して、令和2年度の目標値を基準として設定した。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	施設内でアンケートを実施し、お客様の声に耳を傾けた運営を心がけている。また当該年度に要望や苦情は寄せられていないため、満足度は高水準を維持出来ているものと考えている。
利用者アンケートの内容	①利用日時 ②性別 ③年齢 ④職業 ⑤利用目的 ⑥利用回数 ⑦トレイ清掃について ⑧観光案内について ⑨喫茶コーナーについて ⑩自由記載 (※回答数が少ないため、今後改善を図っていく。)

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光情報の発信、観光案内の充実を図り、情報の一元化による公平な案内に努め、公共施設運営者としての自覚をもった運営を行っている。		当市の入り口にある観光案内施設として、観光情報発信を適切に行い、観光振興に寄与している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	イベント時や繁忙期には時間延長を行い、利用機会の向上を図りながら運営している。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例・規則などを遵守し、お客様の安全と施設の管理に努めながら、適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	花の広場の一角をボランティアの協力の下で整備している。		市や他の観光施設との適切な協力関係が保たれており、また、ボランティアとの連携も図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	野外コンサートや地元出店者によるフリーマーケットの開催、また、なまはげ太鼓の実演などを積極的に実施している。		なまはげ太鼓によるお出迎えなどのイベントが行われているが、より施設の設置目的と地域特性を活かした自主事業の実施が必要である。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	巨大ナマハゲ像など通じた取材受入や撮影協力を積極的に行い、また、市観光ポータルサイトや総合観光パンフレット等でも周知している。		市観光ポータルサイトや総合観光パンフレット等で周知しているものの、より積極的なPRが必要である。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	定期的なイベントを開催している(ナマハゲ太鼓演奏・ナマハゲとの記念撮影会など)。		GWやお盆期間等、利用促進に係るイベントは実施しているものの、閑散期の利用促進に係る取組を実施する必要がある。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	子どもへはナマハゲ折り紙をプレゼントするなど、各種ノベルティの配布を行っている。		お土産購入者へはオリジナルの紙袋を用意したり、キャッシュレスサービスを導入している。さらに、Wi-Fiサービスの提供やスマートフォンの無料充電コーナーを設置するなど、サービス向上に積極的に取り組んでいる。	
3 効率的な管理			B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	法令を遵守し、定期的なメンテナンスと点検を実施して、施設機能を維持している。		設置後、10年以上、経過している施設であるが、良好に維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	施設内の清掃を徹底しており、特にトイレの衛生面については、注意を払っている。		施設内はテナント部も含め、清潔に保たれている。特にトレイは清潔に保たれており、花を飾るなど美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	トイレ内で節水の注意喚起を行っているほか、館内温度の定時測定により管理し、適切な温度によるエコな運営を心掛けている。		例年、光熱水費はほぼ一定であり、省エネの取組が望まれる(ただし、当該年度はコロナ禍の影響により例年より減少している)。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	繁忙期は、職員を増員し閑散期は、少数な配置によりメリハリの効いた効率的な運営に努めている。	年中無休の施設として、適正な配置がなされている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	「いらっしゃいませ」などの声かけの徹底を確実に実施している。「笑顔のおが」を実践し接客に努めている。	利用者に対し、適切な接遇が行われている。接遇に関して、当該年度における当施設に対するクレームはなかった。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	JNTOや東北の観光案内所ネットワーク事業による研修会などへ参加するようにしている。	市等が行う研修会等にも積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	寄せられた意見のうち、お客様への返答を要するものについては、速やかに返答し、観光課も含め、職員間での共有を図ることとしている。	事務局長及び施設長を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が毎日館内外を開館前・開館中に巡回の上、チェックしている。	施設の状況確認も含め、適切に行われており、施設に不備が生じた際には、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	予期せぬ事故に対応するため施設内賠償責任保険に加入している。また、日々安全な利用促進に配慮している。事故の際には緊急事故連絡体制を構築し、事故の際には、各所へすみやかに連絡できるようにしている。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	万が一の際にも的確な対応が取れるよう、消防訓練など、法令に沿った訓練を定期的に行っている。	適切に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	協会の個人情報の取扱い規定を遵守し対応している。	適切に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支計画による安定的な運営のため、請求・支出日を定め資金の管理に努めている。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	協会の規定により、帳簿、通帳の管理を行っている。通帳は施設には保管せず、協会事務局の金庫に保管している。	適切に管理されている。
5 その他【新型コロナウイルス対応】		B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝、検温を実施し、記録している。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に対応している。
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時、検温・アルコール消毒を必須としているほか、カウンターにビニールシートをかけている。	適切に対応している。
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気を徹底している。	適切に対応している。

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 男鹿半島の入口に所在する施設として、観光案内機能を充実させ、利用者へのサービス向上に資する取組を実施している。また、テナントとも協力をしながら、施設の周知を図るとともに、物販の充実も図りながら、収益向上に向けて積極的な事業運営を行っている。 さらに巨大ナマハゲ像を核とした全国放送番組の取材受入等を積極的に行うことで、当施設のみならず、男鹿半島の観光振興全体に寄与するような取組を展開しており、引き続き観光案内所機能を重視しながら、テナント事業者とも協力して管理運営を行っていく。
B	
所管課評価	(評価欄) 男鹿半島の入口にある観光案内所として、利用者が観光情報を収集しやすいように配慮し、施設運営が行われている。また、観光案内の質を保ちつつ、物販を行い、収益確保に向けた取組も展開している。 今後とも、男鹿観光の最初の立ち寄り地として、テナントと連携しながら積極的な周知・広報活動に努めるとともに、自主事業による利用促進の取組を進めていく必要がある。 改善が必要な事項はあるものの、指定管理者として、当施設を適切に運営していると認められる。
B	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月29日
所管課	観光課

1 公の施設

施設名称	男鹿温泉交流会館五風	所在地	男鹿市北浦湯本草木原21-2
指定期間	平成 30 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>【設置目的】 伝統芸能や各種イベントの開催により、男鹿温泉郷の更なる魅力の向上に努め、観光の振興及び地域の活性化を図る。</p> <p>【開館日】 平成19年7月1日</p> <p>【規模等】 敷地面積 1,720.21㎡</p> <p>【施設概要】 鉄骨造2階建/延床面積812.86㎡ 付帯:駐車場・歩行者用道路・足湯・市場スペース・モニュメント</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿温泉郷協同組合	選定方法	選定委員会
	所在地	秋田県男鹿市北浦湯本草木原21-2	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シートを提出</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 五風なまはげ太鼓ライブの公演のほか、各種手作り体験講座の開設 冬季誘客イベント「体感！冬のナマハゲ！」の開催 e-Bikeレンタサイクル事業の受託 			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	40,491 人	17,753,621 円 (1,922,000)	20,070,371 円	△ 2,316,750 円
当該年度目標	18,500 人	10,182,000 円 (1,922,000)	14,756,000 円	△ 4,574,000 円
当該年度実績	17,584 人	12,585,213 円 (1,922,000)	16,932,865 円	△ 4,347,652 円
実績等の増減原因	利用者数はコロナウイルスの感染拡大による上期の落ち込みが想定以上であったこと等による。			
来年度の目標設定の考え方	経費縮減効果や、来館者のシェアが大きい首都圏等の感染状況等を想定して設定していく。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・なまはげ太鼓ライブ終了時に係員が積極的に声がけして確認した結果、大変満足度が高い等の回答をいただいている。 ・男鹿温泉郷各ホテルのアンケートの中でも、なまはげ太鼓の評価は高い。
利用者アンケートの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は期間を定め、コロナの感染状況を見ながら実施予定。 ・設備の良し悪し、接客、満足度等について確認。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光課と連携して運営しているが、管理者の特性も運営に活かしている。		ユネスコ無形文化遺産「男鹿のナマハゲ」を核とした手作り体験やなまはげ太鼓により、男鹿温泉郷の魅力向上に貢献している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	制限、制約を設けず運営している。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		A
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき、適正に業務を行っている		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMO推進室や各観光施設、男鹿温泉郷各施設と連携を図っている。		市や観光協会等と、適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。また、温泉郷各宿泊施設や、なまはげ太鼓団体恩荷との連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	なまはげ太鼓の公演や手作り工芸体験など、郷土を意識した活動を行っている。		男鹿温泉郷の宿泊者を中心に、なまはげ太鼓公演が常設されており、また、男鹿のナマハゲを核とした手作り体験など、特性を十分に活かした自主事業が実施されている。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	毎年度のチラシ制作に加え、定期的にHPもリニューアルするなどしている。		WEBサイトや各種チラシなどにより、PRが図られている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	HP等を活用し、イベントや自主企画を広く告知しているほか、温泉郷の各ホテルへポスターを掲示することで、利用促進を図っている。		市や関係施設と教育旅行誘致を行うだけでなく、自主的な営業活動を展開しており、コロナ禍で制限はあるものの、成果をあげている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	人的サービスのほか設備面も配慮している。キャッシュレスサービスを導入し、無料Wi-Fi環境等も整備している。		利用者目線での利便性を向上させる取組に積極的である。同時に観光協会のレンタサイクル事業の受託など、サービス向上に取り組んでいる。	
3 効率的な管理			B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等を定期的に巡回チェックし、不具合があるときは速やかに対応している。		設置後、15年以上、経過している設備等、あるが、良好に維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品は備品台帳に基づき、適切に管理し、利用状況は利用申請書等により把握している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	日々の清掃を通して清潔に保っている。		館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	非利用時の節電等を徹底している。		例年、光熱水費はほぼ一定であり、省エネの取組が望まれる(ただし、当該年度はコロナ禍の影響により例年より減少している)。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	スケジュール管理を徹底している。	年中無休の施設として、適正な配置がなされている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	ミーティング等を通して共通認識を形成している。	来館者に対し、適切な接遇が行われている。接遇に関して、当該年度における当施設に対するクレームはなかった。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	社外での研修機会を積極的に利用している。	市や市観光協会が主催する各種研修には積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ミーティング等を通して共通認識を形成している。	施設長を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	点検作業を通じて、事故防止に努めている。	施設の状況確認も含め、適切に行われており、施設に不備が生じた際には、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	避難誘導等における職員間の取り決めがあり、訓練により有事に備えている。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年に2～3回、実施している。	適切に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報記載の書類は鍵付き書庫等で保管し、不要となったものはシュレッターで廃棄処分している。	適切に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は、費用も下方修正している。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書・帳簿類はバインダーに整理の上、決められた場所に保管し、通帳は施錠できる場所に保管している。	適切に管理されている。
5 その他【新型コロナウイルス対応】		B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝、検温を実施し、記録している。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に対応している。
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時検温・アルコール消毒を必須としているほか、カウンターへアクリル板を設置している。また、ホールでは椅子を削減し、間隔をとるよう配慮している。	適切に対応している。
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	館内では、窓の開放・換気を徹底している。	適切に対応している。

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
B	<p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響を最小限にとどめられるよう注力して運営を行ってきた結果、売上高は大きく落ち込んだものの、施設スタッフの雇用の維持及びモチベーションの維持は何とか保たれたように思われる。施設本体の維持管理についても、経年劣化は多少見受けられるものの、常識的な範疇と想定され、概ね管理状況も良好と判断している。</p>
所管課評価	(評価欄)
B	<p>当該年度はコロナ禍の影響を大きく受けたものの、地元のなまはげ太鼓団体と連携して、当地の特性を大いに活かしたなまはげ太鼓ライブの常設公演を行うことで、男鹿温泉郷の宿泊者へのサービス向上と、利益の確保に繋げている。また、常設公演を契機として、市内外での各種イベント等へのなまはげ太鼓派遣などにもつながっており、教育旅行や団体旅行を含めた、魅力ある誘客コンテンツの一角に成長している。</p> <p>この他、ナマハゲを核とした手作り体験や、なまはげ柴灯まつりに合わせたイベントなど自主事業を積極的に展開しており、施設の有効活用が図られているが、これまで目立った活用実績のない、市場スペースの活用が必要である。</p> <p>以上を踏まえて、指定管理者として、当該施設を適切に運営していると認められる。</p>

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	男鹿まるごと売込課

1 公の施設

施設名称	サンワーク男鹿・男鹿市トレーニングセンター	所在地	男鹿市船川港金川姫ヶ沢158-10
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>サンワーク男鹿 住所 男鹿市船川港金川字姫ヶ沢158番地10 竣工 平成3年8月8日 敷地面積 7,681.24㎡ 建築面積 1,114.08㎡ 延床面積 1,121.93㎡ 建築構造 RC造一部鉄骨造平屋建</p> <p>男鹿市トレーニングセンター 竣工 平成4年1月4日 敷地面積 サンワーク男鹿敷地内 建築面積 171.50㎡ 延床面積 171.50㎡ 建築構造 RC造平屋建</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(公社)男鹿市シルバー人材センター	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>勤労者の様々な研修や諸会議をはじめ、市民の教養・文化の向上に寄与する諸行事、作品展示など、設置目的に合致した施設の管理運営にあたる。</p> <p>また、市民がスポーツに親しむ機会の提供をはじめ、スポーツ教室、スポーツ大会の開催を通して、生活の中でのスポーツ実践と健康の維持増進を図ることができるような施設運営に努める。</p>			
自主事業の実施状況	<p>スポーツ推進員1名を配置し、毎週水曜日にスポーツ教室を開催し、スポーツの普及と市民の健康増進に努めた。</p>			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	30,246 人	9,290,839 円 (8,300,000)	9,288,772 円	2,067 円
当該年度目標	30,000 人	9,697,000 円 (8,800,000)	9,697,000 円	0 円
当該年度実績	25,551 人	9,677,141 円 (8,800,000)	9,675,459 円	1,682 円
実績等の増減原因	<p>令和2年度は、4月20日から5月10日まで、新型コロナウイルス感染拡大に伴い施設が休館となったため、利用者数が減少した。</p>			
来年度の目標設定の考え方	<p>令和3年度は、新型コロナウイルスの感染が収束するものと想定し、さらなる利用者の増加を図る。</p>			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	利用者の方には、概ね満足いただいているが、照明やトレーニング機器などの老朽化により、不便をかけている面もある。
利用者アンケートの内容	例年、利用者懇談会を開催し、意見等を聞き取りしているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染対策のため、懇談会の開催を中止し、利用者から書面により要望等を提出いただき、意見や苦情の把握に努めた。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		B
① 平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	所管課と連携を密にし、市の方針や施設の設置目的等に合致した運営を行った。		的確に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者が平等に利用できるような運営を行った。		利用者の平等が保たれている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		C
① 法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、業務を適正に行った。		適正に業務を行っている。	
② 地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	利用者団体や市体育協会等と連携しながら、施設運営を行った。		地域関係機関との連携がみられたが、より多くの関係機関との連携も今後は検討してほしい。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	毎週水曜日、スポーツ教室を実施した。		高齢者の健康増進に努めている。既存の事業だけでなく新規の自主事業も今後検討を要する。	
③ 広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	毎月、市広報等で自主事業のPRを行った。		自主事業のPRを積極的に行っている。	
④ 施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	行事予定等をPRし、施設の利用促進に向けた取組を行った。		施設の利用促進に向けた取組を行っている。	
⑤ サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	利用者の声の把握に努め、サービス向上を図った。		利用者サービスの向上のために、アンケートの実施等が必要である。	
3 効率的な管理			B		B
① 施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	施設の状況については、所管課に報告し、必要な修繕を行うなど、適切に管理した。		施設に異常が発生した際に、直ちに報告の上、必要な対応を行っている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳等を整備し、利用状況を適切に把握した。		毎月利用状況の報告が行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	清掃員2名を配置し、常に清潔な状況を維持した。		清掃等が、適切に行われ、管理されている。	
② 環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水に取り組むなど、省エネ対策に取り組んだ。		施設の光熱水費の抑制に努めている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	所長1名、総務・会計1名、受付案内業務2名(日中、夜間各1名)、清掃業務2名、スポーツ指導員1名を配置し施設の管理運営を行った。また、イベント等開催時はスタッフを増員し対応した。	円滑に業務を遂行するために必要な人員配置が行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	利用者に対しては常に丁寧な対応を心掛けた。	利用者からの苦情等は特になく、適切に対応できている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	指定管理者であるシルバー人材センター職員が常に勤務状況を確認し、サンワーク職員の資質の向上に努めた。	内部での指導も必要だが、外部講師による研修の実施も、今後検討を要する。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	例年、利用者懇談会を開催し、意見等を聞き取りしているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染対策のため、懇談会の開催を中止し、利用者から書面により要望等を提出いただき、意見や苦情の把握に努めた。	利用者が随時、意見を伝えられるように、アンケート用紙及び目安箱等の設置について検討を要する。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が利用者の状況を常に把握し、注意喚起を行うなど、事故防止を図った。	随時利用者の状況を把握し、事故防止に努めていた。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急通報体制や職員の行動マニュアルを作成し、事故や災害時に対応できるよう努めた。	マニュアルを整備し事故や災害時に備えている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年1回、防災避難訓練を実施した。	防災避難訓練を実施している。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報については細心の注意を払い管理した。	個人情報を適正に管理している。個人情報管理規程の整備が必要である。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支については予算に基づき適切な執行を行った。	予算に基づき適切に執行している。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書や帳簿等は適切に管理した。	管理を適切に行い、紛失防止に努めている。
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
B	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年度当初、閉館期間を設けたため、利用者数等に影響があった。その後は、感染対策に留意し施設管理を行った結果、利用者感染者・濃厚接触者などは発生していない。施設管理は概ね適切に執行されたと判断している。
所管課 評価	(評価欄)
B	閉館等に伴い、利用者数が減ったものの、施設管理は概ね適切に執行されており、今後も感染対策に留意しながら利用者が安全、安心に利用できるよう施設管理に努めていただきたい。現状に満足するだけでなく、今後は利用者の高齢化に伴う減少が懸念されるため、新規利用者の掘り起こしに向けた検討を行うとともに、目安箱の設置等により、更に良い施設管理、運営の方法を検討してほしい。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	男鹿まるごと売込課

1 公の施設

施設名称	男鹿市シルバーワークプラザ	所在地	男鹿市船川港金川姫ヶ沢152-2
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	男鹿市シルバーワークプラザ 住所 男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地1 竣工 平成5年3月 敷地面積 1,457.00㎡ 建築面積 285.70㎡ 延床面積 285.70㎡ 建築構造 木造平屋建		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(公社)男鹿市シルバー人材センター	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	高齢者の福祉増進と個々の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、就業機会の確保に関する様々な研修や諸会議の開催をはじめ、高齢者の交流・教養文化の向上にも役立つ施設の管理運営にあたる。			
自主事業の実施状況	シルバー人材センター事業遂行のため、庭木剪定や塗装などの就業前安全講習会、各種委員会、地域班長会議、入会説明会等を実施した。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	188 人	1,955,562 円 (0)	1,955,562 円	0 円
当該年度目標	200 人	2,000,000 円 (0)	2,000,000 円	0 円
当該年度実績	105 人	2,019,065 円 (0)	2,019,065 円	0 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、シルバーワークプラザを会場とした研修会や会議等の回数が減少したため、利用者数が減少した。			
来年度の目標設定の考え方	令和3年度は、新型コロナウイルスの感染が収束するものと想定し、さらなる利用者の増加を図る。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	利用者満足度は良好だが、建築後30年が経過し、施設の老朽化が目立つ。
利用者アンケートの内容	利用者アンケートは実施していない。

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	所管課と連携を密にし、市の方針や施設の設置目的等に合致した運営を行った。		施設の設置目的を理解した運営を行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者が平等に利用できるような運営を行った。		利用者の平等が保たれている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、業務を適正に行った。		適正に業務を行っている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市地域包括支援センターや商工会などと連携を取りながら事業を進めた。		関係機関との連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	庭木剪定や塗装などの就業前研修、地域班長会議、入会説明会等を実施した。		会員の技術向上のための研修を行うなど、特性を生かした自主事業を実施している。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	シルバー人材センターホームページ等で施設情報をPRした。		PRを行い周知している。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	行事予定等をPRし、施設の利用促進に向けた取組を行った。		施設の利用促進に向けた取組を行っている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	常に利用者の声を把握し、サービス向上に努めた。		サービス向上の取組を行っている。	
3 効率的な管理			B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	施設の状況については、常に所管課と連絡を取り適切に管理した。		適切に管理されており、建築からかなりの年月が経過しているが、良好な状態が保たれている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳等を整備し、利用状況を適切に把握している。		備品台帳を整備しており、適切に把握している。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	シルバー人材センター職員が清掃し、常に清潔な状況を維持した。		清潔な状態が保たれている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水に取り組むなど、省エネ対策に取り組んだ。		施設の光熱水費の抑制に努めている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	施設の管理運営については、職員1名を配置した。ただし、研修会や会議開催時等は職員を増員するなど柔軟な体制を整えた。	状況に応じ職員の配置を変えるなど、適正な人員配置となるよう努めている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	利用者に対しては常に丁寧な対応を心掛けた。	会員からの苦情等もなく、適切に対応できている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	朝礼や打合せの際、接遇等の検証を行い、資質の向上に努めた。	更なる資質向上に努め、必要に応じ外部講師からの研修の実施するなど、検討を要する。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	例年、地域班長会議等を開催し、意見や苦情の把握に努めた。	会議時だけでなく、随時意見を言える体制を整備してするよう検討が必要と考えられる。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が利用者の状況を常に把握し、注意喚起を行うなど、事故防止を図った。	利用者の状況を把握し、事故防止に努めている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急通報体制や職員の行動マニュアルを作成し、事故や災害時に対応できるよう努めた。	マニュアルを整備し事故や災害時に備えている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年1回、防災避難訓練を実施した。	防災避難訓練を実施している。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報については細心の注意を払い管理した。	個人情報を適正に管理しているが、個人情報管理規定の整備も検討が必要と考えられる。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支については予算に基づき適切な執行を行った。	予算に基づき適切に執行している。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書や帳簿等は適切に管理した。	管理を適切に行い、紛失防止に努めている。
5 その他【 】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
B	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、シルバーワークプラザを会場とした会議等の開催回数は減少したが、概ね適切な管理が行われたと考えている。
所管課 評価	(評価欄)
B	施設の設置目的に合った管理、運営がされている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	男鹿まるごと売込課

1 公の施設

施設名称	男鹿市複合観光施設	所在地	男鹿市船川港船川字新浜町1-19
指定期間	平成30年4月～令和5年3月	評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・男鹿国定公園の指定を受けた貴重な自然景観やジオパーク、国指定無形民俗文化財「男鹿のナマハゲ」等、多彩な観光資源を有する「男鹿半島」に立地。 ・JR男鹿線の終着駅「男鹿駅」及びクルーズ船の寄港地に近接した立地的特徴を生かし、鉄道・港湾と連携し、国内外からの観光誘客を強化するための拠点施設。 ・半島周遊観光のゲートウェイ、広域周遊観光の拠点として、多様な周遊形態に対応した情報を広く発信。 ・男鹿半島特産の海産物、農産物をはじめとした特色ある地域食材の販売・提供、特産品の開発により、6次産業化を推進。 ・男鹿市初の道の駅、みなとオアシスおがの核施設。 		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	株式会社おが	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川字新浜町1番地19	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>株式会社おがは、道の駅の基本機能である「休憩施設」、「情報発信機能」、「地域との連携機能」を活かして、地元市民や男鹿を訪れた方々に複合観光施設を快適に利用いただいているほか、直売所の運営では、新鮮な野菜や鮮魚など男鹿産品の魅力を広くPRし、提供するなど生活インフラとしての役割も果たし、出品者や行政、各団体と連携した催事を行うなど、令和2年度に約44万人の方々が来場している。直売所の出品登録者数は192名と昨年度末より13名増加したほか、出品者の売上は300万円を超える者が23名、このうち1,000万円以上が2名おり、コロナ禍で客層や消費ニーズに変化はみられたものの、直売所の運営は順調に推移している。また、テナントとの協力体制強化のため毎月の店子会議を開催するなど連携して顧客満足度の向上に努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、政府は緊急事態宣言を発出し、本県でも休業要請を行うなど地元経済は大きな影響を受けたが、制限解除後の経済回復支援策「GoToキャンペーン」や、男鹿市及び商工会等の経済団体による経済支援策により、冷え込んだ消費は順調に回復し、当駅においても集客力を改善し、直売所での売上を伸ばすことに成功した。</p> <p>なお、感染リスクを最小限に抑えるために、正面入口に体温測定器を設置したほか、施設の全ての出入り口に消毒液を配置、レジにはビニールシートを装着して飛沫防止策を施した。また、イベント開催時には入場制限や引換券を活用して3密とならないよう努めている。</p>			
自主事業の実施状況	<p>令和2年度の課題は収益の改善であり、直売所経営の基礎である出品登録者の追加募集と出品数量の増加に注力してきた。売場の変化を見極めながら継続的に追加出品を呼びかけ、付加価値に適した価格設定を出品者と相談するなど、どちらも改善の方向に向かっている。前年度と比較して出品点数は103.8%、平均的な価格は8円、それぞれ改善され直売所売上は2億8,597万円で、前期に比べ105.7%となった。収益面は、税引前当期純利益で95万円の黒字を収めている。高い集客が見込める5月の連休が全館休業となるなど厳しい年度の始まりではあったが、夏場の開店時間を延べ66日間、30分早めたほか、感染防止対策を徹底した催事の展開などで、11月までには業績を挽回することができた。一方、テナント売上は休業や時間短縮営業により3割ほど減少した。コロナ禍で感染対策を施しながら創業祭や新米まつりなど当社主催のイベントを9回、男鹿市等によるイベントを6回開催するなど、地域振興の拠点としての存在感を保ち続けることが出来た。不確実性が高い経済情勢を背景に、常にリスクと背中合わせの営業を続けた1年であったが、増収増益の単年度黒字となり、指定管理料は施設維持管理費として適正に活用された。</p>			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	469,127 人	92,542,506 円 (7,900,000)	105,699,376 円	△ 13,156,870 円
当該年度目標	450,000 人	99,887,000 円 (7,900,000)	98,530,000 円	1,357,000 円
当該年度実績	443,999 人	99,203,971 円 (7,900,000)	99,026,537 円	177,434 円
実績等の増減原因	GoToキャンペーンや地域商品券による経済支援と出品者数及び出品量増加に伴い収益力の改善が図られた。			
来年度の目標設定の考え方	ポストコロナを踏まえ市や地元経済団体、生産者等と連携して直売所運営に努め、レジ通過売上3億2千万を達成する。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	年々直売所の品数が充実してきたことで満足度は向上している。新型コロナウイルスの感染予防は整っており、安全安心に利用できるなど、総合的に高評価となっている。
利用者アンケートの内容	道の駅おが(直売所・テナント・24時間トイレ等の公共設備)の利便性及びスタッフの接客サービスや施設周辺の環境美化についての自由回答

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		C
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	適確に理解し運営している		適正である	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	適正な運用がなされている		出品者・来館者など利用者にとって平等である	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	業務を適正に行っている		適正に行っている	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	連携が図られている		連携するよう心掛けている	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	自主事業を実施している		施設の強みを生かした自主事業を実施している	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	積極的に実施している		各事業で実施している	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	効果的な取組を行っている		効果的ではないが取り組んでいる	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	取組がなされている		徐々に取り組んでいる	
3 効率的な管理			B		D
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	保持されている		メンテナンス契約を締結していない設備があり、改善中である	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	適切に行われている		適切に行われている	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	清潔に保たれている		一部清掃などを指摘	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	取組がなされている		電気利用等の効率的利用に取り組んでいる	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正である	事業実施について現体制では不安が残る
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である	アンケートで高評価があり、接遇マナーは適切である
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施している	実施している
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	整っている	チーフ会議で検討するなど対応している
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	取り組んでいる	常に取り組んでいる
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	整備されている	独自のマニュアルを整備している
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	実施している	実施している
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	図られている	厳重な金庫もあり適正に取り扱われている
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適切である	適切に行っている
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切である	適切に行っている
5 その他【 】			
①	・		
②	・		
③	・		

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 指定管理者である当社の収益力は前年度より向上しており、県内でも最大規模の水産直売所を有する道の駅おがには、年間44万人超の集客があったことから、単年度での黒字化が図られた。市内の農家及び漁師等の第一次生産者は、直売所での売上が向上しており、出品者全体の出品意欲も向上しているように感じる。新型コロナウイルス感染防止対策では清潔な施設管理を心掛け、安全安心な施設を目指している。今後も地域産業の振興と男鹿半島を観光する際のプラットフォームとしての役割を果たし、更なる集客を図っていく。
B	
所管課評価	(評価欄) 施設の管理等見直す部分はあるものの、指定管理者として概ね適正に管理遂行している。職員数と事業内容のバランスが悪く、業務過多になっている。嘱託職員やパート職員への業務分担で乗り切ってはいるものの、事業を推進する上で核となる人材が必要である。新型コロナウイルス感染症により、休業期間や売上の減少など様々な影響を受けたものの、各種助成制度や関係団体との連携事業により、収支でも黒字を計上したことは次年度に向けて好材料となっているが、アフターコロナを見据えた準備態勢の構築など、まだまだ整理する事項も多い。今後も関係団体と連携し、地域産業の振興と活性化に寄与する施設となるようサポートが必要である。
C	

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年4月1日
所管課	文化スポーツ課

1 公の施設

施設名称	男鹿市体育施設	所在地	男鹿市船川港比詰字大沢田304番地ほか
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	<p>【男鹿総合運動公園】①総合体育館、②弓道場、③陸上競技場、④野球場、⑤球技場、⑥テニスコート 【船越近隣公園】⑦すもう場 【若美中央公園】⑧若美総合体育館、⑨若美中央公園球場、⑩若美中央公園管理事務所及び多目的広場、⑪若美中央公園スキー場及びロープリフト 【若美球場】⑫若美球場 【B&G海洋センター】⑬体育館、⑭プール 【金川近隣公園】⑮健康の広場、⑯プール</p>		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	一般財団法人 男鹿市体育協会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港比詰字大沢田304番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>【受付案内業務】施設利用の許可及び使用の制限等に関する業務 【維持管理業務】建築物保守・設備機器管理・清掃・備品管理・保安警備・外溝植栽・環境衛生・廃棄物処理等、施設及び設備等の維持管理に関する業務 【スポーツ振興業務】施設を活用したスポーツの普及振興に関する業務 【その他】管理責任者の配置による適正かつ円滑な施設の管理運営、利用料金徴収・施設維持管理記録・事業実績の保存及び提出、その他管理運営に必要と認められる業務</p>			
自主事業の実施状況	<p>市民を対象とした各種健康教室・各種大会の実施 ①ファイトエアロ教室(12回) ②アクア健康教室(7回) ③短期水泳教室(3回) ④家庭バレーボール大会 ⑤グラウンド・ゴルフ大会 ⑥ソフトバレーボール大会</p>			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	135,370 人	77,588,821 円 (73,045,000)	75,998,585 円	1,590,236 円
当該年度目標	150,000 人	80,278,000 円 (73,678,000)	80,278,000 円	0 円
当該年度実績	85,702 人	77,067,848 円 (73,678,000)	73,602,279 円	3,465,569 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、施設の利用停止及び大会の開催及び外出制限等による利用者の減少			
来年度の目標設定の考え方	新たな健康づくり事業及びトレーニングルームの有効活用等による運動習慣の定着化と賑わいの創出 新型コロナウイルス感染防止等に向けた適切な施設管理による安全安心な施設運営			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	①体育協会の理事会や評議委員会等の会議の場を通じて、意見や要望等を把握 ②その意見や要望等に対しては、定期的開催する職員会議を通して改善を検討
利用者アンケートの内容	アンケートは未実施

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		C
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	条例及び施行規則等に基づいた運営を実施している。		施設の設置目的等を的確に理解されているが、市の方針に沿った取組が不十分である。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	大会利用を除き、2ヵ月前から申請を受け付けるなど、平等な利用に配慮している。		利用者が平等に利用できるよう適正な運営が行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		D
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例等を遵守し、業務を適正に実施している。		条例、規則に基づき適正に業務を行っているが、経営努力及び自主事業の実施が不十分である。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	体協加盟団体・男鹿市総合型地域スポーツクラブ等との連携を図っている。		加盟団体等と連携しているが、限定的であり、地域やボランティアの活用が望まれる。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	高齢者を中心とした健康・スポーツ教室を開催している。		独自事業の開催はあるが、回数や規模が不十分であり、実施内容の再考が必要である。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	体協ホームページや市広報、新聞等でのPRを実施している。		施設への掲示、市広報及びHPによる周知に留まっている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	体協ホームページで施設の空き状況が確認できるようにしている。		周知の工夫等による、加盟団体やスポ少等以外の新規利用の開拓が望まれる。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	受付には、極力スポーツ活動の経験者を配置し、あいさつなど声がけを励行している。		施設の維持管理は適正に行われているが、おもてなしの意識を高く持った接客や施設運営が必要である。	
3 効率的な管理			B		C
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	職員による定期巡回と専門業者による保守点検を実施している。		予算の範囲内で、建物や設備を適切に管理しており、安全性を確保している。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品については職員が貸出前後に立会い、利用状況等を毎日把握している。		備品の管理、利用状況の把握は適切に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	清掃職員を配置し、快適な利用に努めている。		大半が清潔に保たれているが、利用頻度の低い箇所の整理整頓や清掃が必要である。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	職員による細目な巡回等により電気・水道等の省エネ対策を実施している。		光熱水費の節減及び廃棄物抑制等の意識が高く、環境保全対策に取り組んでいる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	大きく2ブロック(男鹿・若美)に分け、それぞれ職員・嘱託職員・臨時職員を配置している。	人員は、適正に配置されているが、トレーナー配置等、市の要望への対応が不十分である。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	各担当の業務内容を明確化し、定例職員会議により、おもてなしの意識を高めている。	概ね適切であるが、更なるおもてなしの向上が望まれる。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	有資格者については講習会への積極的な参加を勧めている。	更なる資質の向上に向けて、外部の研修等の積極的な受講が望まれる。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	定期的な職員会議で話題とし、対応を検討している。	アンケートを実施し、利用者の意見や苦情を反映した、施設や業務の改善が必要である。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員による細目な巡回等により施設・設備の状態を確認している。	適宜、事故防止や安全な利用に向けて、点検・修繕等が行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	整備している。	緊急時の対応に向けて、責任者を配置し、体制やマニュアル等が整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年2回の訓練を実施している。	マニュアル等に基づき防災訓練等が定期的に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	辞令交付式等での適正な取り扱いを指示している。	利用者等の個人情報保護の重要性を認識しているが、厳重な管理には至っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	公益法人会計基準に対応した会計処理システムを導入している。	収支計画に基づき、概ね適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	通帳と印鑑の管理を別々の者に担当させているほか、体協独自の監査を実施している。	文書、帳簿、通帳は整理され、概ね適切に管理されている。
5 その他【 】			
①	・		
②	・		
③	・		

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
B	維持管理費等の経費節減が図られているほか、市民の体力向上・健康増進のための健康教室等を開催しているが、新たな健康教室の開催が必要と認識している。
所管課評価	(評価欄)
C	施設の維持管理に関しては概ね良好に遂行されている。また、光熱水費節約等、環境に配慮した取り組みや関係団体と連携した教室の開催等による利用促進策も行われている。 ただし、市の方針である「体育施設における健康づくりや賑わいの創出の促進」に関しては、トレーナーの配置や自主事業の開催等、新たな展開が見られなかった。 また、施設利用の促進に向けて、PRの充実やおもてなしの向上がより一層必要と認められる。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	福野地区農村公園	所在地	男鹿市野石字上李台102番地1
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○公園面積 1,207㎡土地所有者(町内会) ○公園施設・園路広場 ダスト舗装 487㎡ カラーAs舗装 251㎡・修景施設 サルスベリ 17本 生垣 13m・休養施設 便益 ベンチ 2基 東屋 1棟・遊具 ブランコ等 3基		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	福野町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字上李台5番地3	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	175 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	175 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	30 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ過の影響で、外出を控えた。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか				
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか				
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか				
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	市民の利用しやすい公園環境清掃に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	良く整備されている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	申川地区農村公園	所在地	男鹿市野石字申川139番地3
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○公園面積 560㎡ 土地所有者(町内会、一部男鹿市) ○公園施設・園路広場 園路舗装 79㎡ 駐車場舗装 99㎡ ・修景施設 サルスベリ 4本 生垣 57m 芝生舗装 240㎡ ・休養施設 東屋 1棟 ベンチ 3基		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	申川町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字申川107	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	15 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	15 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	15 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	無し			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか				
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか				
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか				
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。		適正に行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	市民の利用を考え、草刈り等を実施し、公園内の環境整備に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	良く整備されている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	八ツ面地区農村公園		所在地	男鹿市野石字東下八ツ面69番地
指定期間	平成 28 年 4 月	～	令和 3 年 3 月	評価対象期間 令和 2 年 4 月 ～ 令和 3 年 3 月
施設概要	○公園面積 739㎡ 土地所有者(男鹿市) ○公園施設 ・園路広場 ダスト舗装 374㎡ 芝生舗装 284㎡ ・修景施設 サルスベリ 10本 生垣 14m 芝生舗装 240㎡ ・休養施設 東屋 1棟 ベンチ 5基・管理施設 フェンス 82m			

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	八ツ面町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字東下八ツ面53-1	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	30 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	30 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	30 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ過の影響で、外出を控えた。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	公園の環境清掃に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	良く整備されている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	福米沢地区農村公園	所在地	男鹿市福米沢字福米93番地1
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○公園面積 2,430㎡ 土地所有者(町内会:熊野神社) ○公園施設 ・園路広場 ダスト舗装 594㎡ 芝生舗装 235㎡ ・休養施設 ベンチ 4基		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	福米沢町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市福米沢字福米9番地	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	100 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	100 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	80 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ過の影響で、外出を控えた。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	公園内の草刈り等を実施し、環境清掃に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	良く整備されている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	野石地区農村公園	所在地	男鹿市野石字才ノ神11番地2
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○公園面積 2,380㎡ 土地所有者(男鹿市) ○公園施設・園路広場 ダスト舗装 594㎡ ・休養施設 ベンチ 1基 スツール 3基 ・植栽ねむの木等 9本		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	野石町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字水上台39-1	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	586 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	500 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	320 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ過の影響で、外出を控えた。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	市民が利用しやすくするため、公園内の草刈り等環境整備に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	良く整備されている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	男鹿市農村婦人の家	所在地	男鹿市脇本脇本稲荷下3-2
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○建物面積 236.83㎡ ○土地面積 472.23㎡ 土地・建物所有者(男鹿市) ○施設 ・農漁産加工室 ・調理実習室 ・研修室・高齢者創作室・小会議室		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	脇本郷財産管理委員会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市脇本脇本字稲荷下3番地2	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 施設の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	農村婦人が共同学習、農産加工、健康増進、創作活動等多面的な活動を通じて、生活改善についての知識及び技術の習得。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	965 人	220,948 円 (0)	220,948 円	0 円
当該年度目標	1,000 人	251,000 円 (0)	251,000 円	0 円
当該年度実績	460 人	371,566 円 (0)	371,566 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ過の影響で、利用者の減少。収支増加は人件費及び施設整備費増加の為。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		建物管理が適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	適正に行っている。		トイレ等施設が綺麗に管理されている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か	適正に行っている。		適正に行われている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。		適正に行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適正に行っている。		適正に行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適正に行っている。		適正に行われている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適正に行っている。		適正に行われている。
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	事故、苦情等はなかった。今後も施設の維持管理に努める。
所管課 評価	(評価欄)
A	施設が整理整頓され、清潔に保たれている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	男鹿市農林水産物直売所	所在地	男鹿市北浦真山字白根坂台150-1
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○建物面積 102.68㎡ 土地面積 1,219㎡ ○施設・駐車場 ・加工所・包装室・休憩室・展示室		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿市なまはげ直売所運営協議会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市北浦真山字白根坂台150-1	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 施設の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	地域農林水産物及び特産品の生産性の向上と販売促進により、農林漁家等の所得の増大を図る。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	17,241 人	2,683,420 円 (0)	220,948 円	2,462,472 円
当該年度目標	15,000 人	2,900,000 円 (0)	251,000 円	2,649,000 円
当該年度実績	14,940 人	2,592,410 円 (0)	371,566 円	2,220,844 円
実績等の増減原因	コロナ過の影響で、利用者の減少。収支増加は人件費及び施設整備費増加の為。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ過の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		建物管理が適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	適正に行っている。		清掃が適正に行われている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か	適正に行っている。		適正に行われている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適正に行っている。	適正に行われている。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	事故や苦情等無く、施設内の整理整頓を行い維持管理に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	施設が整理整頓され、清潔に保たれている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	平岱山牧野	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○面積 38.4ヘクタール 土地所有者(男鹿市) 家畜の飼養と採草。		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿市北部草地利用組合	選定方法	特命
	所在地	男鹿市北浦西水口字大坂下16	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. 放牧及び採草計画に関する業務。 4. 施設の草種及び草生改良計画に関する業務。 5. 有害な植物及び障害物の除去並びに害虫の駆除に関する業務。 6. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	家畜の飼養と採草。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	0 人	0 円	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円	0 円	0 円
当該年度実績	0 人	0 円	0 円	0 円
実績等の増減原因				
来年度の目標設定の考え方				

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課)による検証	所管課 評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか				
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基 づき、指定管理者の業務を適正に行っ ているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			A		A
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか				
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか				
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでい るか				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。	適正に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	家畜用の採草及び、施設の維持管理に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	施設の維持管理を適正に行っている。

指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和2年度
作成日	令和3年6月30日
所管課	農林水産課

1 公の施設

施設名称	館沼牧野及び館沼第2牧野	所在地	男鹿市北浦西水口字館沼1, 2
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	評価対象期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月
施設概要	○面積 3.2ヘクタール 館沼 2.0ヘクタール 館沼第2 1.2ヘクタール		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	西水口郷中	選定方法	特命
	所在地	男鹿市北浦西水口字櫓坂51	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. 放牧及び採草計画に関する業務。 4. 施設の草種及び草生改良計画に関する業務。 5. 有害な植物及び障害物の除去並びに害虫の駆除に関する業務。 6. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	家畜の飼養と採草。			

3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	0 人	0 円	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円	0 円	0 円
当該年度実績	0 人	0 円	0 円	0 円
実績等の増減原因				
来年度の目標設定の考え方				

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			A		A
① 平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか				
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A		A
① 法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	仕様書に基づき適正に行っている。		適正に行われている。	
② 地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか				
③ 広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか				
④ 施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか				
⑤ サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか				
3 効率的な管理			A		A
① 施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか				
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか				
② 環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		A		A
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。		適正に行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか			
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか			
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか			
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか			
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか			
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか			
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか			
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか			
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか			
5 その他【 】				
①	・			
②	・			
③	・			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
A	家畜用の採草を行い、施設の維持管理に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
A	施設の維持管理を適正に行っている。